

活動報告と ご案内 2024-2025



一般財団法人

セブン-イレブン記念財団

ごあいさつ

理事長 太田 敏夫

(セブン-イレブン富士吉田おひめ坂通り店オーナー)



セブン-イレブン記念財団は、1993年11月、株式会社セブン-イレブン・ジャパンの創立20周年記念事業として、セブン-イレブン加盟店と本部が一体となって「環境」をテーマに社会貢献活動に取り組むことを目的に設立されました。セブン-イレブン店頭でお客様からお預かりした募金と、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、企業、団体、個人の皆様からの寄付金をもとに、「環境市民活動支援」「自然環境保護・保全」「災害復興支援」「広報」の4つの事業領域を設け活動しております。

昨今の気候変動の影響により、私たちの生活様式や価値観は大きく変化しております。このような時代だからこそ、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが一層重要と考えております。当財団にも、地域循環共生圏（ローカルSDGs）の日本全国への拡大を目指し、「環境保護」を通じた積極的な取り組みが求められております。

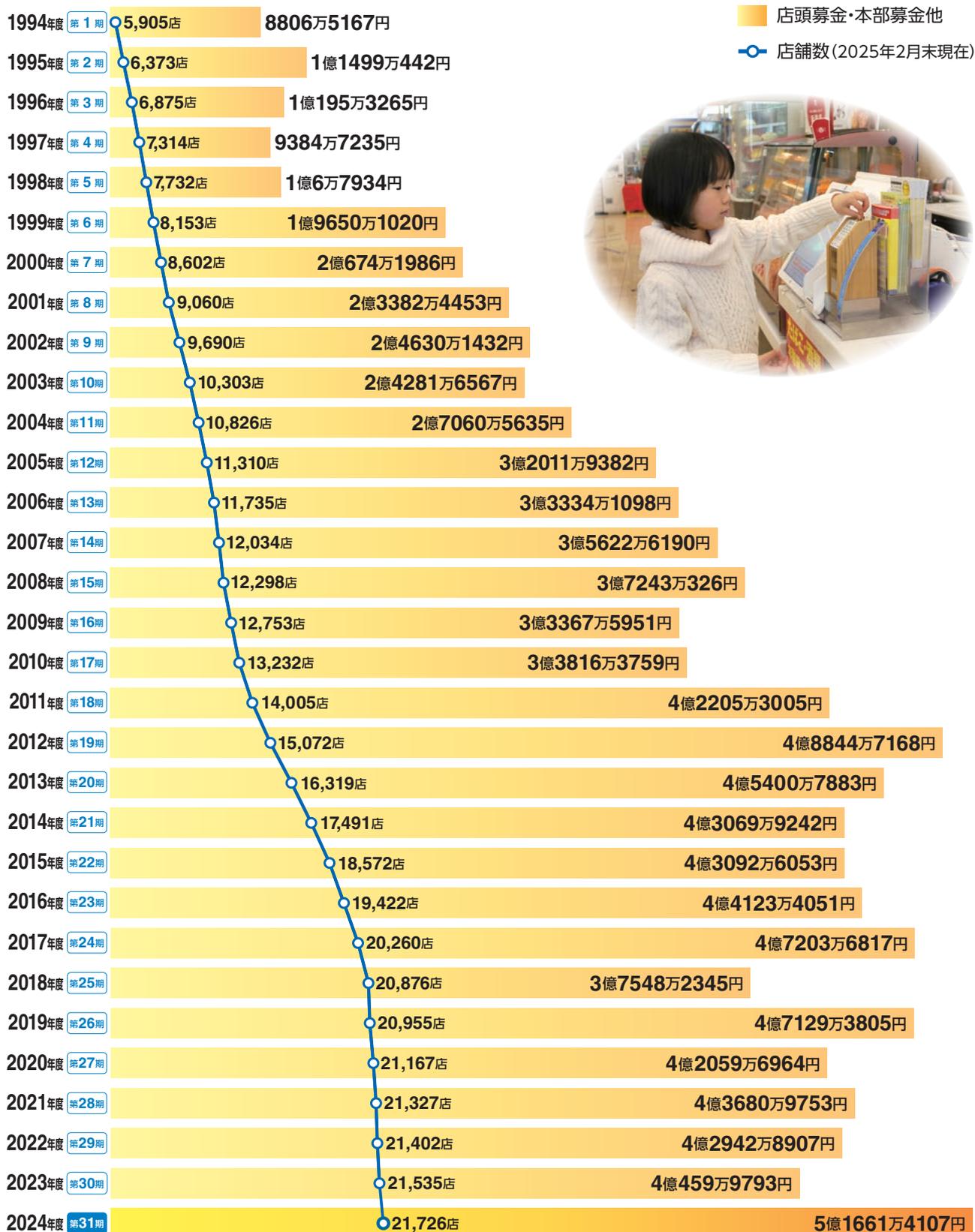
セブン-イレブン記念財団は現在、全国20カ所のセブンの森、海の森で自然環境保護・保全活動を実施しております。2025年2月に庄内セブンの森、4月には福岡セブンの海の森の協定を締結し、2025年度より本格的に活動を始めてまいります。

また、自然の大切さを学べる生涯学習の場を提供するため、大分県玖珠郡九重町で「九重ふるさと自然学校」を、東京都八王子市川町の都有地で東京都と協働して「高尾の森自然学校」を運営し、年間を通じて様々な自然体験プログラムの開催や学校の受け入れなどを実施しております。今年度は「高尾の森自然学校」開校10周年事業として、「環境アカデミー 2025」を開催し、次世代を担う学生たちに環境学習の場を提供していきます。

これからも次世代に豊かな未来をつなぐため、環境市民団体や地域の皆様、セブン-イレブン加盟店およびセブン-イレブン本部と力を合わせて、活動内容の充実を図り、地域に根ざした社会貢献活動を展開してまいります。皆様のさらなるご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

募金額の推移

第1期から第31期までの募金総額 **101億 4390万 1735円**



募金の流れと事業図



店頭募金箱に寄せられた
お客様からの募金



「マッチングギフト制度」による
セブン-イレブン本部からの
寄付金

個人や企業・団体の
皆様からの寄付金・募金

- ◆(株)セブン銀行
- ◆(株)セブン・カードサービス
- ◆(株)クオカード
- ◆電子マネー nanacoの
ポイント募金
- ◆セブン銀行ATMを
利用した募金

他多数



一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

加盟店オーナー代表

セブン-イレブン本部代表

自然環境保護・ 保全事業

- 森林の保護・保全活動
- 生物多様性保全活動
- 高尾の森自然学校
- 九重ふるさと自然学校

写真:大分セブンの森

環境市民活動 支援事業

- 環境市民活動助成
- NPO基盤強化支援
- 環境NPOリーダー支援
- 地域の環境美化活動支援

写真:特定非営利活動法人はかた夢松原の会

環境をテーマにした 社会貢献活動

災害復興支援事業

- 東日本大震災復興支援
- 自然災害復興活動
- 義援金募金活動

写真:一般社団法人RQ災害教育センター

広報事業

- 環境イベント支援
- 広報誌『みどりの風』
- ホームページ

日本の美しい自然を 次世代に引き継ぐために

日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に引き継ぐために、さまざまな団体と協力して保護・保全活動を推進するとともに、自然学校を運営しています。

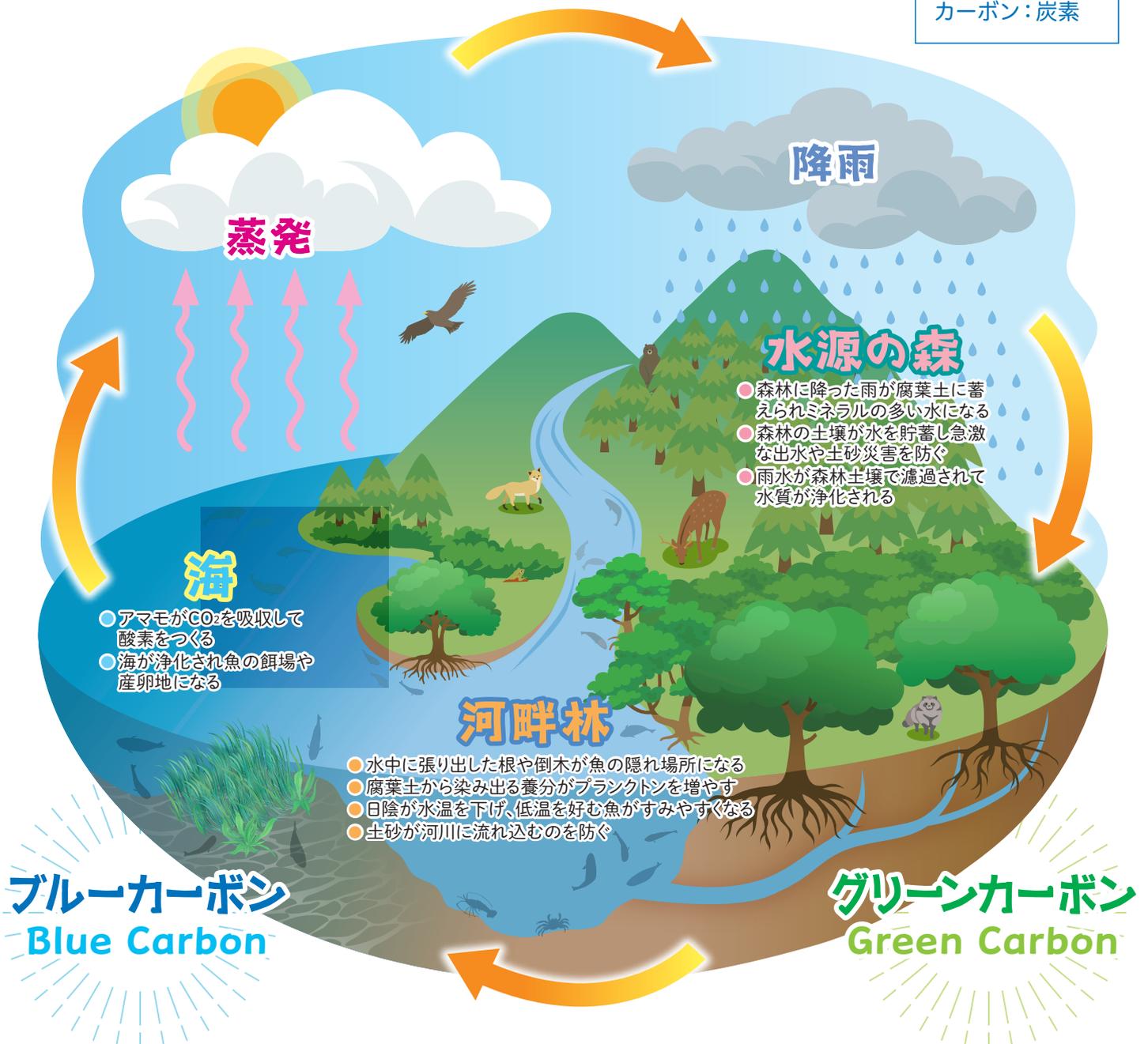


セブン-イレブン記念財団は、このプロジェクトに賛同しています

森林の保護・保全活動「山の森づくり。海の森づくり。」

「山の森」と「海の森」の二つの視点から「CO₂削減」と「豊かな自然環境の再生」を進めています。

CO₂: 二酸化炭素
カーボン: 炭素



セブンの森・海の森づくり

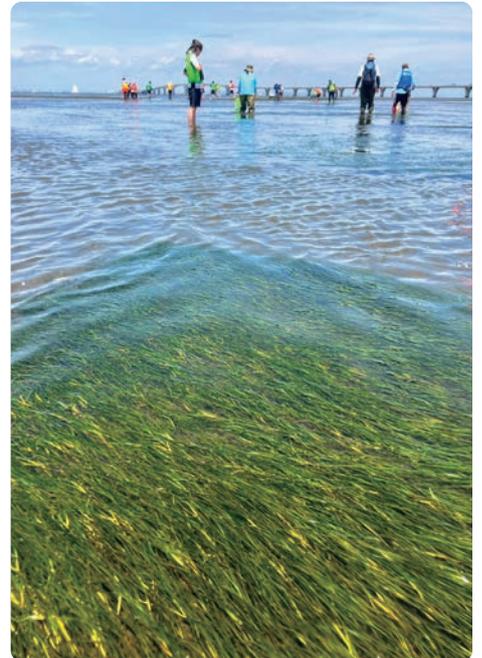
セブン-イレブン記念財団は、地域の方々と協力し、アマモを増やして水質浄化やCO₂削減を図る「海の森づくり」活動を行っています。

ブルーカーボンが地球上の生物による炭素固定の55%を占めることから温室効果ガス削減の切り札とされています。

また、日本の木を循環させる文化を基に、植樹から下刈り・間伐までの森の育木活動を通じて健全な森をつくることを目指し、全国で「セブンの森」づくりに取り組んでいます。



「阪南セブンの海の森」
作付けの様子



「東京湾UMIプロジェクト」
海のゆりかごアマモ場



「福井セブンの森」植樹した木周辺の下刈り



「山梨セブンの森」食害フィルターの補修

「宮城セブンの森」の間伐材を利用した木製募金箱



2012年より震災復興支援として、豊かな森をつくるために宮城県大崎市鳴子温泉玉ノ木にてNPO法人しんりんと協定を締結し、「宮城セブンの森」づくりを行っています。



募金箱は宮城県大崎市の障害者就労支援事業所で組み立てています

2014年から間伐材を利用した木製募金箱を店頭へ設置し、木材を循環させていくことで森林保全と地球温暖化防止につなげています。



「宮城セブンの森」集合写真

「あおり駅前ビーチ」環境省が取り組む自然共生サイトに認定

『青森セブンの海の森』の活動場所でもある「あおり駅前ビーチ」は、生物多様性の保全が図られている区域として、環境省より『令和6年度後期 自然共生サイト』に認定されました。



「青森セブンの海の森」集合写真

青森セブンの海の森は、青森県青森市とNPO法人あおりみなとクラブとセブン-イレブン記念財団の三者で協定を結び活動しております。海岸・海中清掃やアマモの保全活動を通じ『人間と水生生物が共存する、居心地の良い空間づくり』を実現にすることに向けて活動しております。



表彰状



30by30
ロゴマーク

「庄内セブンの森」事業にかかわる連携に関する協定の締結

2025年2月5日(水)、庄内自然博物館構想推進協議会、鶴岡市、一般財団法人セブン-イレブン記念財団の三者で、『庄内セブンの森』整備・保全に関する協定を締結しました。



「庄内セブンの森」協定締結式

【協定の目的】

活動区域において整備・保全活動を実施することにより、湿地やその周辺の自然環境の保全に貢献するとともに、地域社会との交流を実施し、地域の発展に寄与する。

【活動場所】

山形県鶴岡市大山字都沢地内 7.7ha

【協定期間】

2025年2月5日～2035年3月31日



循環する募金箱

セブン-イレブン店頭においてある募金箱は、宮城セブンの森で伐採した間伐材で作られています。

この募金箱はすべて、宮城セブンの森で協定を結んでいるNPO法人しんりん様・セブンの森活動に参加されたセブン-イレブン加盟店様・本部社員が伐った木を使い、宮城県内で加工をしています。

組み立てる時は金属を使わず竹釘を使用し、役目を終えたものは廃棄をせず、また宮城に戻ってきて解体されたのち、燃料や新たな木製品として活用されています。



宮城県大崎市の就労支援事業所にて組立の作業風景

ペレットの原材料として利用されています



募金箱で使用できそうな物はカンナで削り再利用



宮城セブンの活動に参加した子どもたちへの勳章としても再利用しています



日本の美しい自然遺産を次世代へ

霧多布湿原保全活動 ～霧多布セブンの森～

豊かな生態系を抱く霧多布湿原を次世代に引き継ぐために、「小さな力が集まって、大切な自然遺産を残していく」ナショナルトラスト運動を推進しています。

北海道浜中町の認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、2002年より霧多布湿原の民有地などを取得し保全しています。

2018年より「霧多布セブンの森」も始動しました。

取得面積 **488.7ha** (2025年2月末日現在)



霧多布湿原は、ラムサール条約登録湿地

琵琶湖保全活動 ～滋賀セブンの森～

琵琶湖を取り巻く環境を健全な姿で引き継ぐため、2019年に滋賀県、守山市、淡海を守る釣り人の会、セブン-イレブン記念財団の四者で連携協定を締結し、



「滋賀セブンの森」集合写真



「滋賀セブンの森」ゴミの分別活動

「滋賀セブンの森」活動として湖岸清掃や小さな自然再生を実施しています。

年2回の活動には、行政、企業、学生、市民と産官学民が一体となり、湖岸に漂着したゴミの収集、分別作業を力を合わせて行っています。

富士山保全活動

セブン-イレブン記念財団は1994年より富士山の環境美化保全活動への取り組みを開始しました。1998年より、セブン-イレブン加盟店と(株)セブン-イレブン・ジャパン社員などを対象に「セブン-イレブン記念財団 富士山保全活動」を主催し、2022年度から静岡県及び認定NPO富士山クラブと協働で「6R県民運動」として静岡県内の海岸清掃活動を行っています。



清掃活動



集合写真

「国立公園の環境保全活動に関する協力協定書」を締結

2023年4月7日（金）、一般財団法人セブン・イレブン記念財団は、環境省自然環境局および地域の活動団体とともに『国立公園の環境保全活動に関する協力協定書』を締結いたしました。

（左）環境省自然環境局 奥田直久局長、
（右）一般財団法人セブン・イレブン記念財団
山本憲司理事長 ※協定締結時点



協定の経緯

セブン・イレブン記念財団は2023年11月に設立から30周年を迎え、国立公園は最初の指定から2024年で90周年を迎えました。これを機に、両者は国立公園における環境保全活動の推進を図り、自然の風景地の保護及び生物多様性の確保に向け

た取り組みの促進、並びに保護と利用の好循環による地域社会の持続的な発展に寄与することを目的に、相互に協力してこれらの取り組みを促進し更なる取り組みの深化や発信等を行うことに合意し、協力協定を締結いたしました。

協定の概要

【協力内容】

- ①協働で実施する環境保全活動に関する事項
- ②環境市民活動助成に関する事項
- ③環境保全活動への参加の呼びかけに関する事項
- ④その他本協定の目的に資する事項

【活動内容】 ※今後5つの国立公園から環境保全活動を開始、順次拡大していく予定です。

磐梯朝日国立公園（植物の保全のため、外来種駆除を実施）／日光国立公園（景観の保全のため、外来種対策や里山管理を実施）

富士箱根伊豆国立公園（植物の保全のため、防鹿柵の設置・点検を実施）

瀬戸内海国立公園（海岸清掃・登山道の維持管理等を実施）／霧島錦江湾国立公園（干潟の保全・再生を協働で実施）

※瀬戸内海国立公園は周防・日生の2カ所で実施。



瀬戸内海国立公園（周防）竹林・登山道の課題解決活動 集合写真

「富士箱根伊豆国立公園整備活動」紹介動画

野生鹿と希少植物の共存共栄を目指した活動

「富士箱根伊豆国立公園整備活動」では、環境省自然環境局およびHakone Deer Actionとともに自然遺産

の保護及び生物多様性の確保と、鹿との共存共栄を目的とした活動を実施しています。

箱根町ではニホンジカの増加および生息域の拡大とともに、生物多様性の減少や自然景観の後退などの問題が顕在化しています。そこで防鹿柵をすべての範囲に設置するのではなく、必要に応じた場所に柵を設置し、希少な植物を守りながら鹿の生息域も減らさないことを目指して活動しています。



富士箱根伊豆国立公園 集合写真

富士箱根国立公園
紹介動画はこちら



「セブンの森」づくり一覧

(全31カ所、うち終了12カ所)

「セブンの森」は下刈りや植樹を行い、10年後・20年後に地域の自然環境やニーズに合わせた森にする、というような地域に親しまれ、愛され、次世代に繋げる地域一体型の森づくりを目指しています。

2018年度からは国有林・公有林に私有林も加え、地域住民やNPO、行政と連携し、気軽に参加して自然体験や地域交流ができる森づくりを行っています。

都道府県	名称	場所	開始年	面積	活動分野
北海道	支笏湖セブンの森	千歳市	2006年～2021年終了	16.3ha	森林
北海道	千歳セブンの森	千歳市幌加	2009年～2014年終了	1.2ha	森林
北海道	えりも岬セブンの森	幌泉郡えりも町	2013年～2023年更新	4.7ha	森林
北海道	霧多布セブンの森	厚岸郡浜中町	2018年～	488.7ha	湿原
青森県	青森セブンの海の森	青森市	2021年～	—	海
山形県	庄内セブンの森	鶴岡市	2025年～	7.7ha	湿原
宮城県	宮城セブンの森	大崎市鳴子温泉玉ノ木	2013年～	300.0ha	森林
宮城県	仙台湾セブンの森	名取市下増田台	2014年～2019年終了	1.0ha	森林
宮城県	東松島セブンの森	東松島市浜市	2016年～2021年終了	1.0ha	森林
宮城県	塩竈セブンの海の森	塩竈市	2020年～	—	海
福島県	相馬セブンの森	相馬市磯部大洲	2016年～2021年終了	0.3ha	森林
茨城県	茨城セブンの森	水戸市見川町桜川緑地	2018年～2024年終了	6.0ha	河畔林
栃木県	栃木セブンの森	矢板市長井	2013年～2018年終了	2.0ha	森林
埼玉県	埼玉セブンの森	太郎右衛門自然再生地	2022年～	—	河畔林
千葉県	千葉セブンの森	富津市	2012年～2016年終了	2.5ha	森林
千葉県	館山セブンの海の森	館山市沖ノ島	2021年～	—	海
東京都	高尾セブンの森	八王子市川町	2014年～	26.5ha	森林
福井県	福井セブンの森	福井市小羽町「清水きららの森～おばやま自然公園～」	2017年～	2.6ha	森林
山梨県	山梨セブンの森	笛吹市石和町	2020年～	20.6ha	森林
長野県	長野セブンの森 I	埴科郡坂城町	2012年～2016年終了	250.0ha	森林
長野県	長野セブンの森 II	上水内郡信濃町「やすらぎの森」	2017年～	15.9ha	森林
三重県	三重セブンの森	津市美里町	2014年～2019年終了 2020年更新	1.2ha → 8.8ha	森林
滋賀県	滋賀セブンの森	守山市今浜町 第2なぎさ公園	2019年～	—	湖
大阪府	大阪セブンの森	能勢郡能勢町「歌垣山」	2013年～2018年終了	3.7ha	森林
大阪府	阪南セブンの海の森	阪南市西鳥取漁港西海岸	2018年～	—	海
奈良県	奈良セブンの森	北葛城郡王寺町、北葛城郡上牧町	2023年7月～	3.93ha	森林
広島県	広島セブンの森	東広島市八本松町	2013年～2021年更新	3.6ha → 15ha	森林
福岡県	福岡セブンの森	福岡市早良区曲渕	2015年～2020年終了	1.8ha	森林
佐賀県	佐賀セブンの森	三養基郡基山町	2014年～	4.7ha	竹林
宮崎県	宮崎セブンの森	日南市北郷町	2013年～2020年終了	3.0ha	森林
大分県	大分セブンの森	玖珠郡九重町	2021年～	600ha	草原

面積合計 1787.9ha

(2024年度末時点)

「セブンの森」づくり累計活動結果

(2006年度～2024年度)

2025年2月末日現在

活動回数	321回
加盟店と本部社員参加人数	18,618名
一般参加人数	10,415名
参加者数合計	29,146名

「セブンの森」

2025年2月末日現在31カ所
※長野は2カ所（うち終了1カ所）

- セブンの森
- セブンの海の森
- 終了



「セブンの森」ご紹介動画

塩竈セブンの海の森



アマモの場の再生から松島湾全体の改善へ

山梨セブンの森



荒廃した大蔵経寺山の森を整備し、多くの人が森に集える環境に戻す

佐賀セブンの森



放置竹林を整備し、竹から竹チップを作り、家畜の床材に活用する地域循環の取組

大分セブンの森



原風景である草原、森林環境、生物多様性の保全、野焼き文化を次世代に継承する

「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」
くすぐんここのえまち
大分県玖珠郡九重町と東京都八王子市川町で自然学校



高尾の森自然学校

「高尾の森自然学校」は、東京都が初めて民間団体と拠点施設を構えて取り組む協働事業です。2015年4月に開校し10周年を迎えました。東京都八王子市川町の約26.5haの都所有の森をフィールドに、貴重な森林を守り、育むことにより脱炭素社会の実現に寄与します。また東京都レッドリストに掲載されている貴重な動植物の保護・保全活動を通して、生物多様性の重要性を体験し学ぶとともに、地域の自然、歴史、文化などを次世代に継承していく人材を育てます。

「高尾セブンの森」は、高尾の森自然学校が開校する前の2014年8月から地元の方と共に、東京都八王子市川町の豊かな自然が残る森を保全する活動を実施してきました。また月3回実施している森林整備活動「森のお手入れボランティア」は2025年2月末までに計173回実施し、延べ1,887名の方にご参加いただき、森を整備するだけでなく、森づくりの必要性についての講習なども行っています。



体験プログラム
「音楽祭」



高尾セブンの森
「伐倒作業」

体験プログラムを通して環境を学ぼう！

春には新緑の中で音楽を楽しむ『森の音楽祭』を実施。夏には夜の森を歩きながら昆虫観察会、秋には紅葉を楽しみながらの植物観察会、冬には自然素材を使ったクリスマスリースやツリー、門松づくりを実施。また、年間を通じて伝統野菜を育て、種を次世代に繋いでいく畑プログラムなど、四季を感じる様々なプログラムを提供しています。



体験プログラム「昆虫観察会」



体験プログラム「畑プログラム」

を基本理念に、
を運営しています。

くじゅう 九重ふるさと自然学校

九重ふるさと自然学校は、2007年に開校し、ラムサール条約に登録された「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」をはじめとする草原環境の保全や草索性チョウの保全活動、さらにお米も生きものも育む自然共生型の田んぼづくりや地域に根付く伝統野菜の普及・啓発を通して、人と自然が共生する里地里山の保護・保全活動に取り組んでいます。

「大分セブンの森」では、飯田高原一帯の環境を守ろうと、2021年より草原および森林において活動を行っています。2024年度は飯田高原で問題になっている特定外来生物オオハンゴンソウの駆除、さらに草原維持のための野焼きを安全に行うために欠かせない防火帯の整備を延べ222名の方と共に行いました。



体験プログラム
「川のいきものしらべ」



大分セブンの森
「オオハンゴンソウ駆除活動」



体験プログラムと生物多様性 ～お米も生きものも育む田んぼづくり～

自然学校の田んぼはお米だけでなく、生きものも育む田んぼを目指しています。

無農薬はもちろんのこと、中干し（稲の成長のために夏に田んぼの水を抜くこと）をオタマジャクシがカエル



体験プログラム
「田んぼの生きものさがし」

になるまで待つて実施したり、田んぼと田んぼをつなぐ魚道を作り、ドジョウや小魚が行き来しやすくしたりと取り組みはさまざまです。

週末には田んぼの生きものさがしや、田植え、稲刈りなどのプログラムを開催しています。子どもたちの歓声が響く田んぼは「子どもも育む田んぼ」です。



体験プログラム
「稲刈りと秋の生きものしらべ」





「あしもとから」毎月15日(5×3=15)に自分達のあしもとから出来ることを実践する日

自然のすばらしさを体験し 環境を考える機会を提供

私たちを取り巻く自然環境の大切さに気づき、その問題について関心を持ち、身近なところから取り組みを始めていただくための広報活動を行っています。

環境イベント支援

森林スポーツフェスタ

森林の中で行われるエクスポートを通して、森の恵みやすばらしさを体感する「北海道森林スポーツフェスタ」に1999年の第2回より特別協賛しています。



第24回 北海道森林スポーツフェスタ 2024 in 支笏湖

脱炭素チャレンジカップ (旧:低炭素杯)

日本全国、多様な主体が取り組む脱炭素化に関する活動を表彰する制度を通じ、全国の優れた取り組みのノウハウや情報を共有し、さらなる活動への連携や意欲を創出するしくみと場である「脱炭素チャレンジカップ」を(一社)地球温暖化防止全国ネットと2012年から共催しています。



脱炭素チャレンジカップ2025
セブン-イレブン記念財団 最優秀地域活性化賞受賞
長方屋「いば食 de 脱炭素シリカプロジェクト」

海辺の自然再生高校生サミット

「アマモ」や「アマモ場」を象徴的なキーワードとして、海の自然再生・保全を目指している全国的な大会です。

2008年の横浜大会以来、全国各地の沿岸域が抱える環境問題をテーマに、毎年地域の事例発表や意見交換の場として、全国各地で開催されています。

海の環境改善などをテーマにした「全国アマモサミット」と、その中で、全国の高校生たちがアマモを中心とした海に関する研究発表をする「海辺の自然再生・高校生サミット」の開催を第1回から支援しています。



海辺の自然再生高校生サミット2024 in よこすか 円卓会議

森のようちえん全国交流フォーラム

森の中を学びの場として、子どもの主体性を重んじた保育を行う森のようちえん活動の関係者が集い、情報交換をするフォーラムに2015年の第11回より特別協賛しています。



第19回 森のようちえん 全国交流フォーラム in 埼玉

地域の環境美化活動支援

「スカウトの日」活動を支援しています。

次の世代を担う子どもたちが、さまざまな体験を通して環境問題に気付き自らが考えて行動できるよう、環境意識を育てる青少年の環境教育活動を支援しています。



(公財) ボーイスカウト日本連盟が毎年9月の敬老の日(第三月曜日)に実施している全国で一斉に行われる社会貢献活動「スカウトの日」を1994年より継続して全面的に支援しています。

「スカウトの日」の累計結果 (1994年～2024年)

参加団体	33,731団
参加人数	1,350,585名
回収した空き缶	7,475,095本
回収したペットボトル	669,608本

広報誌『みどりの風』

「人と自然」「自然環境と地域社会」をテーマにした広報誌『みどりの風』を年4回発行しています。

2023年度より夏号は、小学校高学年から中学生を対象とした「特別子ども号」を発行し、若い世代にも環境やボランティアに興味を持っていただけるよう全国の小中学校に配布しています。また、セブンの森・海の森の活動報告として「セブンの森だより」を新設いたしました。



ホームページ・SNS

セブン-イレブン記念財団の情報を記載しています。

財団ホームページ

<https://www.7midori.org/>



X-エックス-

<https://x.com/711kinenzaidan>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/7midori.org>





「塩竈セブンの海の森」宮城県

被災地の自然を 復旧・復元するために

甚大な被害をもたらした東日本大震災の復興支援をはじめ、大規模な地震や火災、台風など自然災害の被災地を復旧・復元するための活動を行っています。

東日本大震災復興支援

塩竈セブンの海の森

宮城県の松島湾は多数の島々が点在しており、製塩などを通して海の恵みを受けて発展してきましたが2011年の東日本大震災により、松島湾の環境は激変し、地域の人々を海から遠ざけました。



「湾ダフルしおがま海浜公園」
2024年春 活動場所

震災後に海を怖がるようになってしまった子どもたちに、もう一度海の楽しさを体験してもらう機会にするため、宮城県塩竈市と松島湾アマモ場再生会議とセブン-イレブン記念財団の三者で2020年7月に協定を締結しました。塩竈市北浜緑地護岸沿岸のアマモ場の再生や



アマモの選別と種の植付

保全再生活動を実施し、地域の活性化につなげています。



海岸清掃

災害時における被災地支援に関する連携協定

一般財団法人セブン-イレブン記念財団と一般社団法人RQ災害教育センターは、災害時における被災地支援に関する連携しております。

目的:地震、風水害その他災害が発生した場合において、協力し、迅速かつ円滑に被災地での支援活動を実施することを目的とする。

協定期間:2023年8月1日～2026年7月31日



令和6年能登半島地震活動の様子



義援金募金活動

大規模な地震や火災、台風などの深刻な被害が予想される広域災害発生の際は、セブン-イレブン店頭を設置されている募金箱のステッカーを貼り替え、義援金募金活動を行っています。お客様からのご厚意は、心を込めて被災地へお届けしています。

令和6年 台湾東部沖地震被害への募金活動

募金期間:2024年4月5日～4月21日

募金総額:8322万8312円

セブン-イレブン店舗数:21,544店

地域に根ざした 環境市民活動を支援

セブン-イレブン記念財団は、地域の環境市民団体が新しい社会の担い手として活躍できるよう、市民が主体的に行っている地域の環境活動を様々な角度から支援しています。

環境市民活動助成

お客様が募金を通して地域の環境活動を支援する、市民参加型の社会貢献活動です。

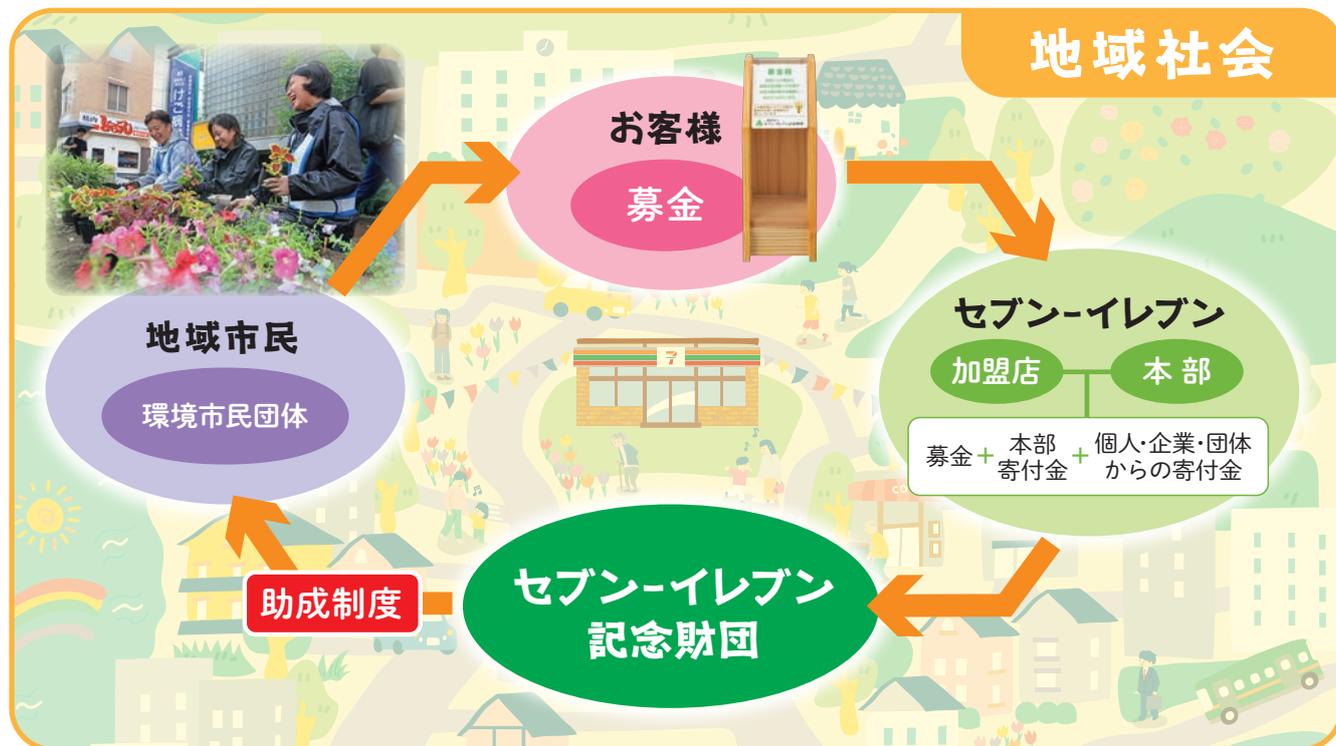
環境市民活動支援事業の大きな柱は、公募制の「環境市民活動助成」です。日本全国のセブン-イレブン店頭募金箱にお客様から寄せられた募金を、地域の環境市民団体に助成金という形でお届けし、活動を支援しています。

「環境市民活動助成」は、2001年に日本国内の団体および活動を助成対象として開始しました。助成先を全

国から公募し、助成先団体選定の透明性と公正性を高めるために、それぞれの活動分野を審査する専門審査会と、その結果をもって広い視点から審査を行う最終審査会の2度の審査会を設け、厳正な審査を経て助成先団体を決定しています。助成先には、安心して活動できるように年度初めに助成金をお振り込みし、活動終了後に活動報告書と会計報告書を提出いただいています。



2025年度
環境市民活動助成パンフレット



助成の種類 (2024年度)	助成の趣旨と特徴	助成の種類 (2024年度)	助成の趣旨と特徴
未来へつなごう助成	地域の環境課題解決のために活動する大学生・大学院生の取り組みを1年間支援します。	活動助成	市民が主体となって行う環境活動を1年間支援します。
地域美化助成	ごみのない、緑と花咲く街並みをつくる活動を1年間支援します。	NPO基盤強化助成	地域の環境課題解決のために行う革新かつ持続可能な自主事業の構築・確率を目指すNPO法人の活動を原則3年間支援します。

助成先のご紹介

◆地域美化助成◆



NPO法人 はかた夢松原の会

代表 磯谷慶子

紹介動画はこちら



水と緑のまちづくり

海から川、そして水源地へ
活動エリアを広げ
地域と交流しながら
まちづくりを担ってきました。



◆活動助成◆



認定NPO法人 阿蘇花野協会

代表 山中 守

紹介動画はこちら



阿蘇の「野の花」を未来へ

人と自然が共生することで育まれる
阿蘇の野の花を、植物学的価値や文
化的豊かさを広く啓発し、豊かな草
原の保全・再生を進める。



◆NPO基盤強化助成◆



NPO法人 いぶり自然学校

代表 上田 融

紹介動画はこちら



暮らしに根付いた 里山畜養

苦小牧にある小さな自然学校。
いぶりという素敵なまちと、
自然と人を結び付けます。



◆公募助成紹介◆

ご紹介した助成先は
YouTubeにて公開しております。
ぜひご確認ください。

今年度の公募助成紹介動画は
セブン-イレブン記念財団の
X-エクス-にて告知いたします。
ぜひご確認ください。

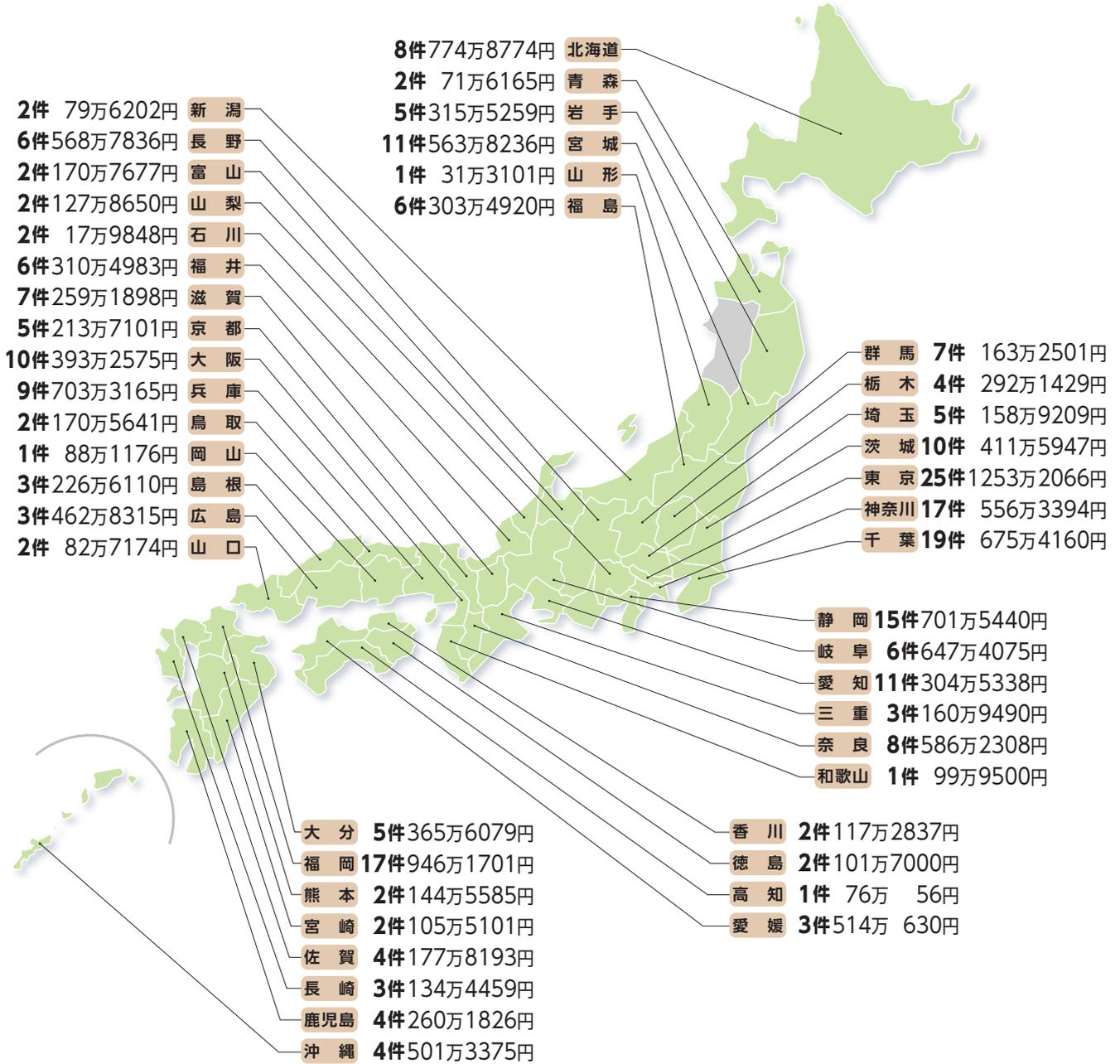


2024年度「環境市民活動助成」都道府県別助成総数と助成総額

※2022年度、2023年度、2024年度の継続助成を含みます。

助成総数 **275件** 助成総額 **1億5392万6505円**

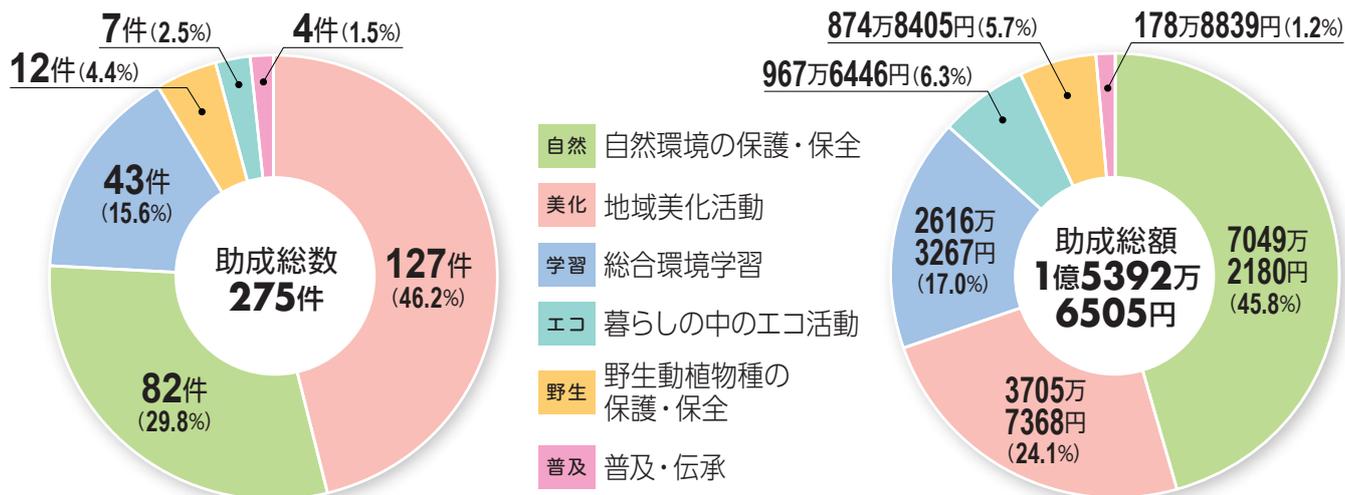
※2024年6月30日現在の助成総額です。



2024年度「環境市民活動助成」(複数年継続を含む)

助成の種類	応募		単年度の助成決定		複数年継続を含む助成決定	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
未来へつなごう助成	11件	2,743,528円	9件	2,320,098円	9件	2,320,098円
地域美化助成	148件	43,980,136円	127件	37,057,368円	127件	37,057,368円
活動助成	236件	158,135,733円	129件	75,334,873円	129件	75,334,873円
NPO基盤強化助成	30件	97,936,803円	3件	11,564,338円	10件	39,214,166円
合計	425件	302,796,200円	268件	126,276,677円	275件	153,926,505円

2024年度「環境市民活動助成」活動分野別助成総数と助成総額



これまでの「環境市民活動助成」結果 (2001年度～2024年度)

助成総数 **5,178件** 助成総額 **30億3269万3353円**

※助成決定時のものです。 ※現物支給の助成も含まれます。 ※助成総数と助成総額は、複数年継続して助成する団体を含みます。

年度	単年度の助成		年度の助成 (複数年継続を含む)	
	件数	金額	助成総数	助成総額
2024年度	268件	126,276,677円	275件	153,926,505円
2023年度	239件	115,850,281円	268件	161,864,664円
2022年度	258件	121,251,747円	285件	155,361,354円
2021年度	246件	121,153,791円	272件	138,350,724円
2020年度	242件	88,656,491円	269件	111,063,824円
2019年度	285件	119,253,140円	289件	133,402,934円
2018年度	264件	127,827,840円	271件	153,957,167円
2017年度	293件	133,815,020円	302件	167,417,785円
2016年度	294件	152,944,496円	304件	182,454,549円
2015年度	254件	142,276,318円	264件	169,311,877円
2014年度	253件	149,515,421円	268件	175,668,971円
2013年度	245件	129,028,445円	260件	155,948,445円
2012年度	131件	101,421,086円	139件	126,206,886円
2011年度	232件	145,726,773円	240件	158,980,713円
2010年度	210件	130,634,996円	224件	143,010,489円
2009年度	237件	121,235,814円	251件	134,927,614円
2008年度	180件	103,748,981円	191件	119,240,461円
2007年度	151件	90,045,085円	161件	103,382,710円
2006年度	101件	73,727,319円	112件	83,690,039円
2005年度	82件	57,400,089円	94件	72,330,059円
2004年度	113件	53,571,573円	119件	63,521,573円
2003年度	136件	71,395,401円	136件	71,395,401円
2002年度	96件	49,643,022円	96件	49,643,022円
2001年度	88件	47,635,587円	88件	47,635,587円
合計	4,898件	2,574,035,393円	5,178件	3,032,693,353円

2024年度(令和6年度)都道府県別助成先団体・活動内容一覧

※採択後の辞退含む

北海道

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
北海道	NPO法人 いぶり自然学校	森のようちえんと、生きづらさを感じている若者による里山畜養	自然
北海道	NPO法人 北海道森林ボランティア協会	風台風で被害を受けた森林を豊かな森に再生する	自然
北海道	厚岸町民の森造成実行委員会	町民の手によって広葉樹主体の植樹を行う	自然
北海道	ひがし北海道ブランド化推進協議会	釧路湿原国立公園の魅力を知る・再発見する学びのツアー実施事業	学習
北海道	秋桜「地域を花でかざろう会」	札幌市の遊休地の花植をやりたい人がやれる時にやれるだけの活動	美化
北海道	根室ワイズユースの会	市民協働による環境保全活動に取り組む	美化
北海道	苫小牧市まちを緑にする会	市民の手で緑いっぱいふるさとづくりを目的に植樹する	美化
北海道	利尻町みどり豊かなまちづくり推進委員会	花いっぱい運動(町内の植樹帯やプランターへの花の植栽)	美化
北海道	認定NPO法人 霧多布湿原ナショナルトラスト	霧多布湿原を次世代に引き継ぐためのナショナルトラスト運動	自然

東北

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
青森	NPO法人 青森県環境パートナーシップセンター	第8回むつ湾の絵のコンクール開催とむつ湾を守る学びと体験学習	自然
青森	ひろさき環境パートナーシップ21	自然の再生力による多様な自然環境の再生と維持	自然
青森	NPO法人 あおもりみなとクラブ	藻場再生と自然環境保全、SDGs理解度向上及び地域愛着醸成	自然
岩手	NPO法人 三陸ボランティアダイバーズ	ボランティアダイバーによる藻場再生活動	自然
岩手	橋野町振興協議会	分水嶺をなす和山を自然、環境、エネルギーを考える場にする活動	自然
岩手	大槌町藻場再生協議会	大槌町が属する海域における藻場等海洋環境の保全活動	自然
岩手	大船渡市末崎町ラベンダー畑保存会	花の維持管理を行い市の観光資源の保持と政策材料の提供に資する	美化
岩手	和村ソフトボールクラブ	当地域内のおおふなと斎苑入口の花壇を年間通して整備	美化
宮城	塩釜市浦戸石浜区会	島民と島外者の協働による離島の里地里山の保全と景観継承	自然
宮城	山口政人ゼミナール	網地島の花と緑のふれあい活動	自然
宮城	蕃山21の会	蕃山およびこれに連なる山々の豊かで優れた自然環境の保全活動	自然
宮城	NPO法人 HERO	地球に優しくなって、地球が喜ぶように暮らしたい	学習
宮城	NPO法人 スパッと鳴子温泉自然エネルギー	大崎市の特徴ある再生可能エネルギー利活用学習プログラムの提供	学習
宮城	NPO法人 海の自然史研究所	北上サステナパーク作りstep2生物相情報(魚類)把握活用	学習
宮城	宮城野親子で料理プロジェクト	海(うみ)山(やま)食環境実践・体験プロジェクト	学習
宮城	仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議	東日本大震災で被災した仙台東部地域での自然環境学習	学習
宮城	黄金自治会	国道346号約2.5km歩道の清掃と花壇の花植え	美化
宮城	錦ヶ丘花と緑の会	錦ヶ丘の主要な花壇(3箇所)の花壇づくり(花植えと管理)	美化
宮城	坂元グリーンサポートクラブ	震災復興新市街地の公共緑地の緑化・美化環境整備活動	美化
宮城	NPO法人 しんりん	「森と人間が調和・共生する森づくり」事業と、持続可能な新しい林業の構築	自然
山形	マイ夢の花の里づくりクラブ	マイ夢の里の植花緑化(あじさい)・環境美化と心安らく地域作り	美化
福島	NPO法人 ウルシネクスト	国産漆の保全・継承と地域振興を目的としたウルシの植栽事業	自然
福島	アクアマリンパークファウンデーション	海洋プラスチックごみに関する体験・学習を伴う啓発活動	自然
福島	里山の食と農、暮らしに学ぶ鮫川学	茅場を通して、里山の暮らしの体験と継承を図る	学習
福島	下柴行政区	フラワーロードの追加播種と管理用物置の設置	美化
福島	小名浜まちづくり市民会議	小名浜本町通りと富ヶ浦公園美化整備	美化
福島	日立木6号花壇ボランティア	日立木地区にある6号国道の花壇(8区画160m)の整備	美化

関東

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
茨城	利貝城保存会	利貝城跡を整備保存し、歴史的文化遺産の継承につなげる	自然
茨城	久慈川水防竹林を守る会	久慈川沿いの竹林整備と間伐竹の有効活用	自然
茨城	古徳沼の自然を守る会	オオハクチョウ越冬地古徳沼と里山の自然保全と地域交流活動	自然
茨城	島崎城跡を守る会	島崎城跡の環境保全活動を通じて森林の健全な育成を図る	自然
茨城	NPO法人 茨城県南生活者ネット	里山の保全維持と自然環境体験学習の場の運営	学習
茨城	認定非営利活動法人宍塚の自然と歴史の会	タブレットを活用した里山環境学習のための自然歴史観察会の実施	学習
茨城	小貝川・花とふれあいの輪	小貝川堤の荒地を花の公園に変える環境美化の実践と啓発活動	美化
茨城	下妻市花のまち推進ボランティアクラブ	市内県道沿い緑地帯における植栽管理活動(花の植替え作業)	美化
茨城	額田城跡保存会	額田城跡の保護・保存のための奉仕作業、文化財行政への協力	美化
茨城	源氏川の彼岸花を保存する会	源氏川両岸に咲く彼岸花を育成・保護する活動	美化
栃木	NPO法人 足尾に緑を育てる会	足尾銅山の煙害等で荒廃裸地化した足尾の山の緑化活動	自然
栃木	那須塩原環境ボランティアの会	ニホンジカの食害を受けた沼ッ原湿原の植物群の多様性を取り戻す	自然
栃木	NPO法人 うつのみや環境行動フォーラム 再生可能エネルギー部会	実験を重視した環境出前授業「地球温暖化と再生可能エネルギー」	学習
栃木	米山南町会 花づくり倶楽部	町内にある公園の花壇に花を植え一年中花のある公園を目指す	美化
群馬	NPO法人 ふるさと再生ネットワーク	地域資源を活用したグリーンツーリズムを通じた地域活性化	自然
群馬	孺恋村高山蝶を守る会	群馬県の西部、湯ノ丸山に生息する高山蝶の保護	野生
群馬	だれでもバザー	子供服の循環による市内の可燃ごみ削減啓発活動	エコ
群馬	フラワー田宿	ゴミが散乱していた市有地等を清掃し、花壇にして美化する	美化
群馬	まちづくりを考える研究グループ	プランターの花の植替え	美化
群馬	川場美しいマチ研究会	都市民と農村民の交流による農村風景の修景を目指した植花活動	美化
群馬	八寸の会	絶滅してしまったアマドコロを殖蓮中学校の生徒と共に植栽	美化
埼玉	NPO法人 一二三富の会	貴重な平地林を維持し、より生物多様性に富んだ森へ変える	自然
埼玉	大谷川源流の会	水源を守り、子どもたちと木を育て森を創る	自然
埼玉	フラワーフレンズおおたがや	草花の植栽を行い、緑の大切さと故郷意識の醸成に努める	美化
埼玉	東狭山ヶ丘美化協議会	西武池袋線狭山ヶ丘駅東口緑化地帯の花植え及び除草・清掃活動	美化
埼玉	福岡中央公園を愛し育てる会	四季を感じる憩いと品格の有る都市公園を目指す、年間事業活動	美化
千葉	NPO法人 ちば森づくりの会	都市近郊に位置する千葉市の里山林を森林施業で保護保全する活動	自然
千葉	ちば千年の森をつくる会	生物多様性保全をめざす超長期の森づくり	自然
千葉	プリサ	荒廃した森林、竹林を再生し、多面的な機能を維持する	自然
千葉	椎の森里山会	ナラガレ樹木の伐採と伐採跡地への植樹にて里山再生を図る	自然
千葉	earthFUNTRY!	歌とダンスで楽しく考える環境問題・SDGs	学習
千葉	ちば里山・バイオマス協議会	地域資源の活用を通して持続可能な里山を維持する	学習
千葉	NPO法人 環境パートナーシップちば	家族で楽しむ里山遊び10	普及
千葉	clean correct 地域みらい環境サポート	地域(駅周辺、学校通学路、公共公園、住宅街)の美化清掃活動	美化
千葉	NPO大須賀川 河童会	旧国道356沿い遊休地のお花畑づくりとくさば緑地の草刈り清掃	美化
千葉	グリーンレンジャー	葛、雑草、雑木、笹竹等の除去による水辺と周辺景観の回復	美化
千葉	花の池くらぶ	花の池の環境や花の植栽イルミネーション点灯などの美化活動	美化
千葉	ひよしグリーンロード再生会	日吉台中央通り植樹帯の花植え及び多年草植栽活動	美化
千葉	星久喜町県有地・市有地の緑化推進 プロジェクトチーム	星久喜町県有地・市有地(雑草が生い茂る荒地)の開墾緑化活動	美化
千葉	みらいスマイルコミュニティーズ	緑が丘クリーンプロジェクト	美化
千葉	花咲き山	緑と花でいっぱいの地域のコミュニティガーデンをつくる	美化
千葉	我孫子市景観形成市民会議	我孫子の重要な景観軸である「ハケの道」環境を守り育てる活動	美化
千葉	七ツ池再生委員会	環境保全(美化清掃)活動	美化
千葉	芝桜de花のまちづくりin浦安	千葉県浦安市を芝桜など花と緑の美しい街にする活動	美化
千葉	八千代花と緑の応援団	八千代市内を市の花「バラ」でいっぱいにする	美化

千葉	NPO法人 たてやま・海の鑑定団	館山市の沖ノ島を主なフィールドに海や森などの自然を知り守る活動	自然
東京	22世紀の森づくり・神代	森の保全管理作業、植物調査、イベントを通して地域との交流	自然
東京	フレンドツリーサポーターズ	森林管理への関心と理解を深めるための啓発活動・森林活動支援	自然
東京	一般社団法人ガールスカウト東京都連盟	みんなの東京クリーンアップ大作戦	自然
東京	池の沢に蛍を増やす会	蛍の生息地である水辺環境を守るため里山保全活動を行う	自然
東京	2.5 architects	東京都の埋立地・ゴミ問題について環境学習WSを通じて学ぶ	学習
東京	NPO法人 森のようちえん全国ネットワーク連盟	自然の中で育む環境教育、保育指導者養成活動	学習
東京	パウロの森くらぶ	地域が育んだパウロの森の豊かな自然や文化を次世代につなげる	学習
東京	狛江水辺の楽校運営協議会	多摩川の環境保全清掃と環境学習の教材づくり	学習
東京	玉川上水みどりといきもの会議	玉川上水の動植物の保全	普及
東京	act634府中	府中駅前花と緑の市民参加の美化活動2024	美化
東京	DEXTE-K	西なぎさ発：東京里海エイド	美化
東京	NPO法人 渋谷さくら育樹の会	渋谷さくら通り植栽推進活動（フラワーロードプロジェクト）	美化
東京	さーくる・ガーデン・クラブ	目黒区立中目黒公園での無農薬、有機栽培の花壇作りボランティア	美化
東京	とよ花の会	公園と都道沿いに花を植え、毎朝ごみ拾いを行う	美化
東京	なでしこの会	花を植え、手入れをする人も見る人も同じ気持ちで楽しむ街作り	美化
東京	パークシティ豊洲園芸クラブ	晴海通り沿いの桜並木に花壇を作り、地域住民や子供たちと交流	美化
東京	小田野中央公園まちづくりの会	公園内の草刈り・低木の剪定等の整備及び花壇維持管理維持管理	美化
東京	代々木公園ボランティア	指定花壇での園芸活動、樹木観察、及び日曜日自然教室	美化
東京	唐木田コミュニティセンター運営協議会	「花いっぱい運動」でつくる“絆”と称する植花育成活動	美化
東京	南大沢4丁目15番地自治会	高齢者にもやさしい団地内緑化	美化
東京	氷川台自治会	氷川台通りの花壇とプランター、たけのこ広場に花を植える	美化
東京	品川区役所公園課認定 ボランティア チームたんぼぼ	西小山のニコは笑顔のニコ!ゴミ・ゼロと花と緑で笑顔を広げる	美化
東京	豊洲シーサイドガーデン	江東区のコミュニティガーデンの維持管理	美化
東京	豊洲セントラルガーデン	公園内街路樹花壇とフラワーコンテナの植栽維持管理、周辺清掃	美化
東京	明神町クラブ	八王子市東放射線アイロードの街路樹植え込みを花で飾る	美化
東京	東京湾再生官民連携フォーラム	東京湾再生のための「江戸前」の再興、生き物生息場の再生、「東京湾大感謝祭」の開催	自然
神奈川	NPO法人 UMINARI	海洋プラスチック問題の啓発を目的としたビーチクリーンイベント	自然
神奈川	くずはの家ボランティアの会	自然観察施設くずはの広場内の環境整備、生物多様性の保全活動	自然
神奈川	横須賀里山たんぼ倶楽部	長年放置された森林整備と復田・管理することで生物多様性を図る	自然
神奈川	横浜自然観察の森友の会雑木林ファンクラブ	自然と人の良好な関係が着実に広がっていく「森づくり」	自然
神奈川	水沢森人の会	市街地に残る約5haの里山環境保全のため森林、水辺、畑の管理	自然
神奈川	水辺の生き物調査隊	水生生物の調査を通して家族ぐるみで調査保全ができる人材の育成	学習
神奈川	里山をきれいにする会すもあ	里山保全と森林資源の活用について学ぶイベントの開催	学習
神奈川	横浜メダカの会	未来に繋げよう横浜メダカ	野生
神奈川	NPO法人 神奈川フードバンク・プラス	食品ロス削減活動を通して生活困窮家庭への食品支援	エコ
神奈川	NPO法人 エミフル	地域クリーン活動	美化
神奈川	NPO法人 都筑里山倶楽部	持続ある循環型都市公園の魅力と美化アップ	美化
神奈川	とつかエココーディネーター協議会	地球温暖化対策行動を地域に広げるエコ活動	美化
神奈川	まちの活性化委員会	市内の環境美化と公園に花を咲かせる	美化
神奈川	花でまちを活性化する会	チューリップや向日葵等を植栽するとともに摘み取り体験を行う	美化
神奈川	梶原山町内会	梶原大通り（街路樹柵）ツツジの植栽第三期事業	美化
神奈川	湘南桂台みどりの会	湘南桂台花と緑でいっぱいのまちづくり	美化
神奈川	南足柄市姉妹都市交流協会	市内地域公民館の花壇に、毎年チューリップを植栽する	美化
神奈川	NPO法人 緑のダム北相模	FSC（森林管理協議会）の精神に沿い、新しい森林創生事業を創出する事業を支援	自然

北信越

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
新潟	新潟青陵大学ばらくと	学生主体による自分たちが通う学園周辺の松林の整備、保全活動	自然
新潟	NPO法人 みどりの森	地域住民や認知症の人とその家族とともに植栽美化活動をする	美化
富山	一般社団法人 雲ノ平トレイルクラブ	日本最後の秘境を登山者の手で守り、支えあう	自然
富山	NPO法人 Bioクラブ	オニバスの復活とイタセンパラの生息状況の把握に向けて活動	野生
石川	NPO法人 グリーンメーカー	スポGOMI大会の企画運営サポートを通じた美化活動の普及	美化
石川	千路老人クラブ	環境美化と地域住民の安らぎの場づくり老人クラブ活動の一環	美化
福井	NPO法人 森林楽校・森んこ	沢ウォークの体験事業で上流域の活性化と森林と川の保全を進める	学習
福井	NPO法人 里豊夢わかさ	自然の恩恵を受け、自然に触れて遊ぶ活動を通して生きる力を育む	学習
福井	福井市自然体験交流推進協議会	福井の里山で四季折々の自然を感じながら体験する	学習
福井	あわら市エコ市民会議	グリーンカーテンで楽しく涼しくする	美化
福井	あわら市フラワーサポート協議会	北陸新幹線福井開業に合わせ、花いっぱいの魅力あるまちづくり	美化
福井	春江大好きプロジェクト	サードプレイスとしてのローズガーデン整備事業	美化
山梨	ろはすの森実行委員会	今まで行ってきた里山保全活動を新たな切り口で若い世代に繋ぐ	自然
山梨	NPO法人 黒平自然の森学校	自然の魅力を伝える	学習
山梨	認定NPO法人 富士山クラブ	富士山地域での総合的な環境活動	自然
長野	NPO法人 F.O.P	里山森林と永続的に関わる場所づくり・育成	自然
長野	伊那東部山村再生支援研究会	アカマツの間伐材をバイオ炭として資源化し、里山再生に活用	自然
長野	松代オオムラサキの里	里山保全、国蝶オオムラサキの保護	野生
長野	沖1班有志会	国道125号沿い緑地帯、歩道の除草、清掃、植栽管理	美化
長野	花仲間	町にある五か所の花壇の花植えならびに管理作業	美化
長野	上横道自治会	県道傍陽～菅平線1800m他の草刈りと清掃、公民館周囲の植栽	美化

中部・東海

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
岐阜	NPO法人 活エネルギーアカデミー	森林保全・間伐材の利活用と定期物流システム・地域通貨の発行等	自然
岐阜	NPO法人 竹林救援隊	荒廃竹林を整備し市民生活環境に寄与して子供達に喜びを	自然
岐阜	加子母木匠塾	木加工や間伐体験等から木育を学び持続可能な森林と地域を考える	自然
岐阜	NPO法人 長良川自然学校	子供たちが自分で考え行動する（長良川での自然体験活動）	学習
岐阜	いびNPO法人 連絡協議会	揖斐川流域クリーン大作戦といび地域環境塾・里山探検隊	美化
岐阜	生田川マモロード会	生田川河川敷の清掃により遊歩道を整備し地域の環境美化を図る	美化
静岡	Marine Sweeper	海底ゴミの清掃と海洋ゴミアップサイクル活動の全国普及	自然
静岡	NPO法人 熱海キコリーズ	「熱海の森に新しい風を」をテーマに熱海市で森林保全活動	自然
静岡	NPO法人 浜松市東区の自然と文化を残そう会	静岡県の絶滅危惧種1A類のカワバタモロコの保護活動と植樹活動	自然
静岡	江川邸竹灯り実行委員会	地域課題の一つである放置竹林の解消と活用に向けた各種取組	自然
静岡	佐鳴湖シジミプロジェクト協議会	市民への普及・教育書としての「佐鳴湖今昔物語」の冊子作成	自然
静岡	里山会公文名ファイブ	耕作放棄地を解消し、生物多様性や持続可能な環境を未来へ残す	自然
静岡	とみつか未来塾	昔ながらのお米作りを通して子どもたちの健全育成を応援する	学習
静岡	ふあんふカンパニー	静岡県の自然環境とそこに関わる問題について関心を持ち行動する	学習
静岡	興津川保全市民会議	清水地域の興津川の水質及び周囲の自然保護を目的とした環境教育	学習
静岡	佐鳴湖いきもの調査会	ゆたかな佐鳴湖を感じる環境学習	学習
静岡	NPO法人 桶ヶ谷沼を考える会	絶滅危惧種1A類指定のベッコウトンボ及びその生息地の保護保全	野生
静岡	NPO法人 風	うるいがわたんけんたい	美化
静岡	シュガーファミ	自然に対する認識を深め、地域交流の場を作る	美化
静岡	静岡・海辺づくりの会	花壇整備と清掃活動、自然観察会で地域環境を保全する	美化
静岡	二つ池櫻と蓮の保勝会	二つ池周辺の櫻と蓮の維持と環境整備	美化

愛知	瀬戸椿の会	瀬戸市の花「椿」植栽エリアの保全	自然
愛知	環境ボランティアサークル亀の子隊	きれいな海を守るためのプロジェクト	学習
愛知	山崎川グリーンマップ	山崎川の在来種保護にむけての活動	学習
愛知	530運動環境協議会	ごみ拾い等の清掃活動を行う530(ゴミゼロ)運動	美化
愛知	上ノ郷城跡保存研究会	上ノ郷城跡に水仙を植え、市民の散策、癒しの場所に育てる活動	美化
愛知	がまごおり花フル会	美しさと楽しみが広がる花のまちづくり	美化
愛知	やろまいか!愛・地クリーン作戦実行委員会	やろまいか!愛・地クリーン作戦	美化
愛知	山口地域まちづくり協議会	地域内主要道路沿い歩道のゴミ拾いと道路脇等の草刈り	美化
愛知	大口町北地域自治組織	大口町内4か所です春・秋の2回、地域の方々とは花植え活動を行う	美化
愛知	長根花の友の会	地域住民が花作りを通じて絆を深め住みよい街づくりを行う	美化
愛知	徳重学区連絡協議会	徳重学区内・公園・道路・河川敷への花植え・清掃	美化
三重	NPO法人 SEA藻	藻場再生を目的とした磯焼け要因生物(ウニ類)の駆除活動	自然
三重	認定NPO法人 森林の風	里山等森林総合保全・再生活動、森林施業研修会・森林環境教育等	自然
三重	志摩夢まちサポーターズ	地域住民に参加を呼びかけ、地区内6カ所の海岸清掃を年3回実施	美化
三重	NPO法人 もりずむ	「森をつくる・いかす・つなぐ」事業と付加価値を高めた木材による持続可能な林業の確立	自然

近畿

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
滋賀	NPO法人 やまんばの会	企業や学童保育団体等との連携による持続可能な里山の再生	自然
滋賀	BIWAKOお掃除隊	琵琶湖湖岸のゴミ回収	美化
滋賀	NPO法人 花と観音の里	まちなかよし花壇プロジェクト	美化
滋賀	久野部東 お助け隊	地域交流の活性化を目指し交流拠点の整備、及び交流イベント支援	美化
滋賀	徳山環境保全会	一級河川草野川の堤防を彼岸花植栽により整備し地域を活性化する	美化
滋賀	白鳥川の景観を良くする会	白鳥川の桜並木整備で、市民憩いの散策路作りと環境学習支援	美化
滋賀	葉山川環境美化推進委員会	葉山川堤防の環境保全活動に取り組む	美化
滋賀	淡海を守る釣り人の会	釣り人が主体となって行う流域の方と琵琶湖清掃活動	自然
京都	NPO法人 京おとくに・街おこしネットワーク	江戸時代の参詣道「西山古道」復活から京都西山を活性化させる	自然
京都	川、人、ハッピー みんなで川づくりグループ	教育・研究・地域・行政が一体となった河川環境の保全・啓発活動	自然
京都	関西ケリ研究会	一般参加者によるケリ幼鳥の分散の解明と保全に向けた取り組み	野生
京都	NPOふれあい吉祥院ネットワーク	吉祥院いきいきガーデンを開設し地域住民の憩いの場とする	美化
京都	藪の竹ぼうき	市道1068号(物集女竹林道)の清掃と美化推進	美化
大阪	チーム☆ガサ	大阪湾でのガサを通じて自然の重要性、魅力を普及啓発する	自然
大阪	みさき里山クラブ	次世代へ繋ぐ子育て世代とシニアが取り組む里山の保全と活用	自然
大阪	津之江公園を活かす会	津之江公園自然再生エリアの維持管理(自然観察会の開催)	自然
大阪	bioa	自然環境の保全・再生・創出のための幼少連携の環境教育の推進	学習
大阪	NPO法人 子どもNPOはらっぱ	体験活動を通して、阪南市の豊かな自然を感じ未来へつなぐ	学習
大阪	NPO法人 愛花会	春夏秋冬花が咲き乱れる鹿害、犬害のない花壇づくり	美化
大阪	すみれ・花フレンズ	エンジョイ!ハッピー・グリーデーの開催	美化
大阪	桃園連合振興町会	四季の花を通じて潤いのある人と人とのふれあい笑顔の町づくり	美化
大阪	はなもも会	公園美化活動(除草、低木の剪定、植栽、清掃)	美化
大阪	一般社団法人 テラプロジェクト	大阪みどりのボランティアキッズクラブ	美化
兵庫	NPO法人 チーム御前浜・香櫨園浜里浜づくり	御前浜をみんなの宝「里浜」として、まもり、つかい、そだてる	自然
兵庫	NPO法人 神戸海さくら	須磨の自然と環境を学び豊かな海を守り育てる活動	自然
兵庫	NPO法人 里地里山問題研究所	獣がい対策からはじめる地域支援型農業のモデルづくりと人材育成	自然
兵庫	東お多福山草原保全・再生研究会	東お多福山ススキ草原の保全と再生	自然

兵庫	E/SASV Games	琵琶湖から発信するこれからの地球環境、触れる×学ぶ×考える	学習
兵庫	NPO法人 樹木研究会こうべ	木のお医者さんと一緒に「木の生き方を学ぼう」	学習
兵庫	TANBA OUTDOOR ECOLOGY	親子が集い、学び、次世代へ繋げる河川・湖沼での体験型環境学習	学習
兵庫	ひょうご自然教室	5才児対象の自然観察会	学習
兵庫	宝塚フレミラしぜんクラブ	宝塚市在住の子ども達に自然と遊ぶ活動を体験、伝承してもらう	普及
奈良	NPO法人 山野草の里づくりの会	里山林整備、農地復旧・維持の活動により里山の自然と環境を守る	自然
奈良	秋篠川源流を愛し育てる会	秋篠川源流域の環境保全ときれいな川実現に向けての啓発活動実施	学習
奈良	NPO法人 なないろサーカス団	障害者施設が、脱炭素活動と地域づくりを事業性を持って展開する	エコ
奈良	NPO法人 市民省エネ・節電所ネットワーク	市民節電所(市民と省エネ・節電に取り組む)を広める活動	エコ
奈良	NPO法人 おおいわ結の里	里山の景観保全と花いっぱい村づくり	美化
奈良	クリーンリバー飛鳥	地黄橋～春日橋までの飛鳥川周辺川底の草刈及びゴミの回収	美化
奈良	富雄団地とともに支え合う会	団地全戸に会報誌「団地情報」、「花」で以て、コミュニティ活動	美化
奈良	富雄中学校区地域教育協議会	通学路に地域住民と子どもたちが花を植え故郷を愛する心を育てる	美化
奈良	一般社団法人 大和森林管理協会	地元苗を地元で育てる!陽楽の森から始まって帰ってくる植樹の輪	自然
和歌山	NPO法人 オーシャンゲート ジャパン	生物多様性豊かな黒潮の海で、誰もが安心して参加できる体感学習	学習

中国・四国

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
鳥取	NPO法人 自然栽培そらみずち	自然と人の共働ある場づくり	自然
鳥取	グラウンドワーク大山麓山	大山西南トレイルの整備による大山山麓モザイク環境の保全活用	自然
島根	馬路おこし会 環境保全部	日本遺産/国指定天然記念物「琴ヶ浜」鳴砂の保護・保全活動	自然
島根	里山焼かんかね?	焼畑を通して伝統的・持続可能な農業を実践しながら学んでいく	自然
島根	SAN-INやすぎオオサンショウウオの会	オオサンショウウオ人工巣穴環境改善による繁殖場所の創出	野生
岡山	真庭遺産研究会	新しいオオサンショウウオの楽園となる清流の発見と保全	野生
広島	NPO法人 西中国山地自然史研究会	現代版の「里山 commons」を構築して放棄される里山を保全する	自然
広島	芦田川環境マネジメントセンター	子供を対象とした環境学習イベント「水辺の学び舎」を主宰する	学習
広島	プロジェクトチーム： ベイシティグリーンロード	都市計画道路中広宇品線の歩道の清掃と植樹樹の除草と植花活動	美化
山口	屋代島さとうみネットワーク	クリーン&グリーンシーサイドラインプラン	美化
山口	棚田清流の会	地域美化を目的に、休耕田に花を植える	美化
徳島	山城戦国国ごかいめぐりの会	国境に残る貴重な自然景観や文化遺産を自分達の手で後世につなぐ	普及
徳島	鳴門市花街道・地域づくりネットワーク	ひまわり祭り・友好コスモス祭り・花街道づくり	美化
香川	NPO法人 クリーンオーシャンアンサンブル	海洋ごみゼロ世界の実現に向けたビーチクリーン及び調査活動	自然
香川	大野地区衛生組合協議会	国道に面する船岡池堤防に水仙を定植、地域環境美化を促進する	美化
愛媛	NPO法人 今治シビックプライドセンター	アマモ保存・拡大によるブルーカーボン・ソーシャルビジネス	自然
愛媛	溪筋地区環境グループ みずすまし	未来につなごうわたしたちのふる里	自然
愛媛	NPO法人 eワーク愛媛	フードバンク活動のネットワーク化による食品ロス削減推進活動	エコ
高知	一般社団法人 土佐清水ジオパーク推進協議会	土佐清水ジオパークサイト内の植物保全・環境美化活動	自然

九州・沖縄

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
福岡	NPO法人 山村塾	里山での福祉～障がいをもった人との森づくりと薪づくり～	自然
福岡	ウェットランドフォーラム	干潟環境の保全のための、観察会、啓発活動、啓発資料作成など	自然
福岡	宗像CSR推進実行委員会	海のごみが絵本に変わるプロジェクト	自然
福岡	認定NPO法人 改革プロジェクト	ランナーによる離島漂着ごみ回収プログラムの実施	自然
福岡	NPO法人 はかた夢松原の会	国道202号の国体道路の植栽帯・プランターに花植え実施	美化

福岡	Pine tree garden 松崎花壇部	松崎駅前の花壇を整備し、町の顔として明るい景観づくりを行う	美化
福岡	木守区	桜公園・西川公園・井手神社等の清掃植栽ボランティア活動	美化
福岡	ちとせコスモス街道	国道210号線バイパス沿い約4Kmのコスモス植栽の活動	美化
福岡	若葉台区	若葉台区公民館前グラウンド・公園清掃草刈ボランティア活動	美化
福岡	新町区区民サービスおたすけ隊	町内の高齢者支援活動及び自治会支援活動	美化
福岡	前原フラワーベルトの会	前原駅前周辺に年中花を咲かせ、市民や観光客の安らぎを提供する	美化
福岡	大濠公園ガーデニングクラブ	県庁所在地福岡市にある大濠公園池周り2kmの一部花壇作り	美化
福岡	筑紫南コミュニティ運営協議会	地域の公民館や小学校と連携して花いっぱい運動を展開する	美化
福岡	津古ふるさと会	津古地域、宝珠川流域の環境美化活動	美化
福岡	南風校区多久川の自然環境を守る会	多久川河畔の草刈り、ゴミ拾い	美化
福岡	二日市東コミュニティ運営協議会	保育園、小学校、公民館を繋ぎ花いっぱい活動を行う	美化
福岡	舞鶴公園フラワーボランティア	花いっぱい舞鶴公園	美化
佐賀	NPO法人 WeD	高校生が運営・主催する海岸清掃活動／環境保全活動と高校間交流	自然
佐賀	NPO法人 よこそ小城	耕作放棄地の開墾・管理活動	自然
佐賀	NPO法人 つなぎレングラ	グリーンカーテン設置及び花植活動	美化
佐賀	笑うて暮らそうやっ会	町中を花で飾る活動	美化
佐賀	NPO法人 かいろう基山	森林を侵食する孟宗竹を伐採処理して、里山の保全を図る環境保全活動	自然
長崎	team長崎シー・クリーン	世界遺産軍艦島が映える海を守る	自然
長崎	農楽部	長大の畑から、自然&農業の魅力を伝える	学習
長崎	環境美化を考える会	道路脇の除草清掃作業	美化
熊本	認定NPO法人 阿蘇花野協会	阿蘇の草原生態系を再生・保全し、阿蘇の野の花を未来に引き継ぐ	野生
熊本	山口公民館	山口公民館内の4つの自治区で花の植栽及び町山口川清掃	美化
大分	大田資源循環協議会	世界農業遺産の里山での薪づくりとカブトムシの里づくり	自然
大分	白岳里山保繕会	地域のシンボルである白岳神社周辺の景観保全活動を行う	自然
大分	NPO法人 おおいた環境保全フォーラム	オオサンショウウオ生息地保全を目的とした侵略的外来種防除事業	野生
大分	NPO法人 アースデイ中津	つながるひろがるエコの輪・脱炭素の輪・ごみゼロの輪	エコ
大分	NPO法人 エービーシー野外教育センター	ビーチ清掃と海洋性プラごみの学習会&エコクラフト制作	エコ
大分	飯田高原野焼実行委員会	野焼きによる草原の景観や生物多様性の保全を図る	自然
宮崎	緋熊と黒潮	生物多様性×地域づくりをテーマとした大学生向けスタディツアー	学習
宮崎	五ヶ所高原 ゴマ姫の草原を守る会	ゴマシジミが生息する五ヶ所高原を守り、次世代へ引き継ぐ	野生
鹿児島	奄美大島におけるサンバ越冬個体群の保全対策推進調査実行委員会	奄美大島で越冬するサンバ個体群の実態調査に基づく保護の推進	野生
鹿児島	NPO法人 やくしま未来工房	屋久島海岸部の里における環境保全・調査および体験学習会の開催	自然
鹿児島	NPO法人 もりびと	森への理解や興味を育む四季の生き物観察	学習
鹿児島	田代未来プロジェクト	閉校した小学校跡地の地域住民による協働緑化・美化活動	美化
沖縄	食と農の学び舎 BASE	菜園で育む共育とCoそだての地域づくり～食育と自然体験活動～	学習
沖縄	認定NPO法人 よみたん自然学校	自然体験型フリースクール事業拡大と人材育成サイクルの構築	学習
沖縄	みどり町一・二丁目自治会	子供達の通学路を花いっぱいにし安全・安心な街作り活動	美化
沖縄	泡瀬第一自治会	花の苗の植込みや木々の剪定による、環境美化整備を重点に実施	美化

全国

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
全国	NPO法人 海辺つくり研究会	沿岸域環境の保全・再生・創出や自然と共生する海辺つくりに関する事業	自然
	一般社団法人 日本環境NPOネットワーク	環境NPOリーダー海外研修の研修生が設立した全国規模のネットワーク組織の運営を支援	リーダー
	一般社団法人 環境パートナーシップ会議	地方EPOとの対面打ち合わせ、30周年フォーラムへの協力	その他

セブン-イレブン記念財団の「31年のあゆみ」

※団体名は現在の名称です。 ※セブンの森の一覧は、10ページをご覧ください。

1993年(平成5年)

11月 ▶ セブン-イレブンみどりの基金設立



1994年(平成6年)

- 2月 ▶ 全国5,300店のセブン-イレブンに各店1個の募金箱を設置
- 3月 ▶ (財)国立公園協会「自然公園快適環境づくり助成事業」開始
- ▶ 富士山地域美化推進事業・尾瀬地区への特別助成開始
- ▶ (財)都市緑化基金「緑と花のスポットガーデン助成事業」開始
- ▶ (公財)ボーイスカウト日本連盟「スカウトの日・カントリー大作戦」に助成開始

1995年(平成7年)

- 1月 ▶ (財)日本グラウンドワーク協会を通じた一般公募助成制度開始
- 3月 ▶ 「地球にやさしい作文・活動報告コンテスト」協賛開始

1996年(平成8年)

- 8月 ▶ 「活動報告書」「活動報告ビデオ」制作開始
- ▶ 神奈川県鎌倉市「若宮大路グリーン・クリーン運動」へ活動助成開始
- ▶ 九州地区「ラブアース・クリーンアップ」へ活動助成開始



1996年度活動報告書

1997年(平成9年)

5月 ▶ 「札幌大通公園花壇」出展

1998年(平成10年)

8月 ▶ 「富士山地域の清掃活動」に(株)セブン-イレブン・ジャパン社員参加、以降毎年継続

1999年(平成11年)

- 3月 ▶ 募金箱を各店2個の設置に変更
- 7月 ▶ 「北海道森林マラソン(現:北海道森林スポーツフェスタ)」への特別協賛開始(第2回)

2000年(平成12年)

- 4月 ▶ 認定NPO法人富士山クラブを通じ、「富士山環境保全支援プラン」助成開始
- 7月 ▶ ホームページ開設
- ▶ 「セブン-イレブンデー全国一斉清掃活動」に軍手提供
- ▶ 「びわ湖滋賀県下一斉清掃活動」に軍手提供
- 10月 ▶ 「日光杉並木オーナー制度」に加入し杉並木保護・保全活動開始
- ▶ 林野庁と「巨樹・巨木保護活動」を推進

2001年(平成13年)

- 4月 ▶ 「環境市民ボランティア活動助成制度(現:環境市民活動助成制度)」開始
- 8月 ▶ 認定NPO法人富士山クラブの富士山山頂バイオトイレ設置事業を支援



2002年2月
第1回海外研修オーストラリア



富士山山頂バイオトイレ
杉チップ投入

2002年(平成14年)

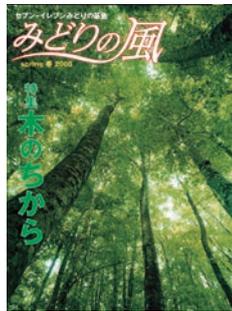
- 2月 ▶ 「環境ボランティアリーダー海外研修制度(現:環境NPOリーダー海外研修制度)」開始
- 8月 ▶ 「ボランティアスタッフ制度」運用開始
- 10月 ▶ 広島市内4カ所に「パートナー花壇」出展
- ▶ (財)都市緑化基金より都市緑化功労者として感謝状を授与される
- 11月 ▶ 「九州森林マラソン(現:九州森林スポーツフェスタ)」特別協賛開始(第1回)
- 12月 ▶ 「霧多布湿原保全活動」として北海道の認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、湿原150haの保護・保全活動開始

2003年(平成15年)

- 4月 ▶ BSハイビジョン放送で環境市民ボランティア団体紹介番組を提供
- ▶ (株)セブン-イレブン・ジャパンビル内にみどりの基金事務局開設
- 7月 ▶ 環境市民ボランティア団体7団体とパートナーシップ協定締結
- 12月 ▶ 「北海道学生環境ボランティア支援制度」開始

2004年(平成16年)

- 5月 ▶ (公財)ボーイスカウト日本連盟より特別感謝章を授与される
 - ▶ 「ラブアース・クリーンアップ in 北海道」への支援開始



広報誌「みどりの風」創刊号

2005年(平成17年)

- 3月 ▶ 広報誌「みどりの風」創刊
- 4月 ▶ 会報「みどりの基金だより」創刊
- 5月 ▶ 「自然環境保護・保全活動にかかる調査研究助成」開始
- 6月 ▶ 「日独ファンドレイジング(資金調達)・シンポジウム」を名古屋市で開催
- 8月 ▶ 「トキこども大使」を新潟県佐渡島に派遣開始



トキこども大使



2006年9月17日
第1回のメインデーには
1,225名の市民が参加

2006年(平成18年)

- 5月 ▶ (株)セブン・カードサービスのポイントチャリティ開始
- 9月 ▶ 「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」開始

2007年(平成19年)

- 4月 ▶ 「九重ふるさと自然学校」開校
 - ▶ 認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストより感謝状を授与される
- 8月 ▶ (公財)日光杉並木保護財団より感謝状を授与される
- 12月 ▶ 「平成19年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」受賞



2007年4月21日
九重ふるさと自然学校開校

2008年(平成20年)

- 11月 ▶ 「三宅島緑化プロジェクト」開始
 - ▶ 「海辺の自然再生・高校生サミット」協賛開始(第1回神奈川県)



2008年11月1日
第1回「三宅島緑化プロジェクト」

2009年(平成21年)

- 5月 ▶ 「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」の活動に対し、「国民の森林づくり推進功労者」として林野庁長官より感謝状を授与される
- 8月 ▶ 「学校の森・子どもサミット」に協賛開始(第3回四国)



2010年2月17日
「東京の緑を守ろうプロジェクト」に
関する協定締結式

2010年(平成22年)

- 2月 ▶ 東京都と「東京の緑を守ろうプロジェクト」に関する協定を締結
- 3月 ▶ 一般財団法人セブン-イレブン記念財団設立
- 5月 ▶ 国連の生物多様性条約事務局の「グリーンウェイブ」に苗木提供開始

2011年(平成23年)

- 6月 ▶ 「東京湾再生アマモプロジェクト」開始
 - ▶ 「東日本大震災復興プロジェクト」開始
- 11月 ▶ 「里地里山プロジェクト」開始
 - ▶ (株)セブン・カードサービスの「nanacoポイント募金」開始

2012年(平成24年)

- 2月 ▶ 「脱炭素チャレンジカップ(旧名称:低炭素杯)」共催開始
- 3月 ▶ 「東北に緑を!セブン-イレブンプロジェクト」開始
 - ▶ 「森林保全プロジェクト」開始
 - ▶ 森林の再生「千葉セブンの森」づくり開始



2011年6月11日 第1回
「東日本大震災復興プロジェクト」

2013年(平成25年)

- 3月 ▶ 九重ふるさと自然学校と学校法人文理学園日本文理大学が「学生のボランティア活動およびインターンシップ推進に関する協定」を締結
- 5月 ▶ 東京都立日比谷公園で開催する「森と花の祭典-みどりの感謝祭」に出展開始(第13回)
 - ▶ 「生物多様性アクション大賞」共催開始(第1回)
- 11月 ▶ 「東京湾再生官民連携フォーラム」に協力
 - ▶ 20周年記念誌「わたしの里山物語」発行



20周年記念誌
「わたしの里山物語」発行

2014年(平成26年)

- 3月 ▶ 九重ふるさと自然学校の「生きもの育む自然共生型たんぼづくり」が、国連生物多様性の10年日本委員会連携事業に認定
- 6月 ▶ 東京都と「民間主体との協働による緑地保全モデル事業に関する協定」を締結
- 7月 ▶ 「セブンの森」の間伐材を利用した木製募金箱を設置開始



2015年4月10日
高尾の森自然学校開校

2015年(平成27年)

- 4月 ▶ 高尾の森自然学校開校
▶ 「森のようちえん全国交流フォーラム」特別協賛開始(第11回)
- 11月 ▶ 国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)より感謝状を授与される

2016年(平成28年)

- 4月 ▶ 東日本大震災復興プロジェクトとして、「宮城セブンの森」づくり開始

2017年(平成29年)

- 5月 ▶ ホームページのスマートフォン対応開始
- 7月 ▶ 海事関係功労者表彰港湾空湾功労(振興発展)に表彰
- 10月 ▶ (一財)みなと総合研究財団主催「東京湾海の環境再生賞」の「国土交通大臣賞」を授与される
▶ 森林整備・保全活動「長野セブンの森」づくり開始
- 11月 ▶ 森林整備・保全活動「福井セブンの森」づくり開始



2017年7月21日 海事関係功労者表彰港湾空湾功労(振興発展)に表彰

2018年(平成30年)

- 5月 ▶ (株)セブン・ペイメントサービスのセブン銀行ATM「現金受取サービス」募金開始
- 6月 ▶ 海の再生「阪南セブンの海の森」づくり開始



2018年6月1日
「阪南セブンの海の森」
大阪府阪南市と調印

- ▶ 河畔林の再生「茨城セブンの森」づくり開始
- 9月 ▶ 湿原の保全「霧多布セブンの森」づくり開始
- 12月 ▶ 25周年記念誌「『江戸しぐさ』に学ぶおもてなしのころ」発行



「『江戸しぐさ』に学ぶおもてなしのころ」発行

2019年(平成31年/令和元年)

- 4月 ▶ 狭小店舗用の募金箱設置
- 10月 ▶ 「環境市民活動助成」PDFフォームでの申請受付開始
- 11月 ▶ 琵琶湖の保全活動「滋賀セブンの森」づくり開始

2020年(令和2年)

- 3月 ▶ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う、環境市民活動助成特別措置の実施
- 4月 ▶ 森林整備・保全活動「山梨セブンの森」づくり開始
- 6月 ▶ セブンマイルプログラム「貯まったマイルを寄付」開始
- 9月 ▶ 「環境市民活動助成」ご案内ビデオ制作
▶ 「環境市民活動助成」助成金セミナーオンライン開催
- 10月 ▶ 松島湾復興支援活動「塩竈セブンの海の森」づくり開始(7月協定締結)
- 11月 ▶ 「グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン全国大会」協賛開始(第1回)
▶ 九重ふるさと自然学校が「青少年の健全育成に尽力」していることを認められ、大分県知事より感謝状、大分県青少年育成県民会議より表彰状を授与される



2020年7月27日「塩竈セブンの海の森」協定式記念写真

2021年(令和3年)

- 2月 ▶ 森林整備・保全活動「三重セブンの森」づくり開始(協定更新)
- 3月 ▶ 環境省大臣官房総合政策課及び一般社団法人環境パートナーシップ会議の三者と「環境保全及び協働取り組みに関する協力協定」を締結
▶ 海と森林の再生「館山セブンの海の森」づくり開始
▶ (株)セブン・グローバルレミットが提供する海外送金サービス「Sentry」からの募金開始



2021年3月24日
「館山セブンの海の森」協定式記念写真

- 5月 ▶ NPO法人 海辺つくり研究会と「自然と人間が調和・共生する海辺つくり事業基本協定」を締結
- 6月 ▶ 草原の保全「大分セブンの森」づくり開始
- 7月 ▶ セブン-イレブン記念財団のホームページリニューアルを実施
 - ▶ 「明日にいいこと。つなげる、つづける。」“セブンの森、セブンの海の森”を日本経済新聞(7月7日)に掲載
 - ▶ 「明日にいいこと。つなげる、つづける。」“セブンの森、セブンの海の森”のテレビCM放映
 - ▶ セブン-イレブン店舗にあるセブン銀行ATMからの募金開始
- 9月 ▶ 「環境市民活動助成」WEBシステムでの申請受付開始
- 10月 ▶ 海の再生「青森セブンの海の森」づくり開始
 - ▶ 阪南セブンの海の森活動が、「阪南市制施行30周年記念事業」にて感謝状を授与される
- 12月 ▶ セブン-イレブンのサステナブルギフトからの寄付開始



日本経済新聞(2021年7月7日)掲載



2021年10月9日
「青森セブンの海の森」
協定式記念写真

2022年(令和4年)

- 7月～11月 ▶ レジ袋収益金を活用した(公財)ボーイスカウト日本連盟との全国一斉清掃活動「プラごみバスターズ大作戦」実施(7/11～11/7)
- 11月 ▶ 河畔林の再生「埼玉セブンの森」づくり開始
 - ▶ (公財)ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念式典にてセブン-イレブン記念財団が特別表彰を受賞



2022年11月9日
「埼玉セブンの森」協定式記念写真



2022年11月26日
ボーイスカウト日本連盟
創立100周年記念式典にて

2023年(令和5年)

- 3月 ▶ セブン-イレブン記念財団設立30周年ロゴ・メッセージ・スローガンを制定
 - ▶ 設立30周年店頭募金お礼シールを制作し、全国の店頭募金箱に掲示
- 4月 ▶ 環境省自然環境局および地域の活動団体とともに『国立公園の環境保全活動に関する協力協定書』を締結
- 5月 ▶ 設立30周年記念としての「活動報告ビデオ」「活動報告とご案内」「ホームページ」を制作
- 6月 ▶ 森林の保全「奈良セブンの森」づくり開始
 - ▶ 広報誌「みどりの風」夏の特別子ども号「みつけた!ビックリ!発見の夏」を制作
- 8月 ▶ 一般社団法人RQ災害教育センターと「災害時における被災地支援に関する連携」について協定締結
- 9月 ▶ 助成制度合同セミナーを会場参加とオンライン参加のハイブリット形式で開催
- 10月 ▶ 環境省が取組む「自然共生サイト」にセブン-イレブン記念財団『阪南セブンの海の森』が認定
- 11月 ▶ セブン-イレブン記念財団設立30周年(20日)
 - ▶ セブン-イレブン記念財団ロゴの商標登録を実施
 - ▶ 設立30周年SDGs記念バッジを加盟店に配布



設立30周年
ロゴ・スローガン



店頭募金
お礼シール



設立30周年
SDGs記念バッジ

2024年(令和6年)

- 2月 ▶ 「森・里・川・海と人と人をつなぐ 脱炭素・生物多様性フォーラム」開催
 - ▶ 「全国海の再生・ブルーインフラ賞」審査委員会特別賞受賞



2024年2月15日
「森・里・川・海と人と人をつなぐ
脱炭素・生物多様性フォーラム」

2025年(令和7年)

- 2月 ▶ 庄内セブンの森協定締結



2025年2月5日「庄内セブンの森」
協定式記念写真

2024年度 活動報告



2024年

3月	2日	第2回「奈良セブンの森」185名参加 竹林整備、植樹（50本）
	18日	2023年度店頭募金総額ポスター 加盟店掲示開始（3/18～4/14）
	30日	第4回「埼玉セブンの森」53名参加 竹林整備、ツル性植物の除去
4月	6日	第16回「佐賀セブンの森」75名参加 竹林整備
	13日	第21回「広島セブンの森」195名参加 植樹（300本）、灌木類伐採、清掃作業
	20日	第9回「山梨セブンの森」71名参加 植樹（10本）、山道整備
5月	11日	第6回「大分セブンの森」120名参加 外来生物駆除
	11日	第7回「館山セブンの海の森」113名参加 アマモ場の再生、沖ノ島整備
	18日	第13回「三重セブンの森」77名参加 伐採木運び出し、伐採木処理
	18日	第36回「高尾セブンの森」98名参加 下刈り、間伐・倒木処理、チップカーかけ
	19日	第10回「滋賀セブンの森」151名参加 湖畔清掃、小さな自然再生活動
	25日	第12回「長野セブンの森」63名参加 植樹（1,000本）、下刈り
	26日	第18回「東京UMIプロジェクト」 68名参加 アマモの花枝採取、アマモ場 の生きもの観察（開催場所：見立海岸）
	28日	第10回「えりも岬セブンの森」 218名参加 植樹（600本）
6月	1日	第5回「青森セブンの海の森」79名参加 勉強会、ゴミ分別、カヤック体験
	8日	第10回「福井セブンの森」70名参加 下刈り、竹林整備、外来生物駆除
	8日	第12回「阪南セブンの海の森」 182名参加 海岸清掃、外来種駆除、 アマモ花枝採取、生きもの観察
	8日	第8回「塩竈セブンの海の森」121名参加 海岸清掃、アマモ場の生きもの観察

2024年

6月	22日	第21回「宮城セブンの森」85名参加 育木活動
	24日	第3回「富士箱根伊豆国立公園整備活動」 41名参加 下刈り、植生保護柵設置
	29日	第8回「霧多布セブンの森」44名参加 植樹（150本）
7月	2日	第2回「日光国立公園整備活動」 56名参加 特別外来生物駆除
	6日	第37回「高尾セブンの森」44名参加 下刈り、間伐・倒木処理、チップカーかけ
	20日	2025年度環境市民活動助成ポスター掲示 開始（7/20～10/31）
8月	3日	第1回「磐梯朝日国立公園整備活動」 26名参加 外来生物駆除
9月	8日	第7回「大分セブンの森」102名参加 防火帯整備、鹿防護柵設置
	16日	2025年度環境市民活動助成受付開始 未来へつなごう助成・地域美化助成 （受付期間：9/16～10/13）、 活動助成・NPO基盤強化助成 （受付期間：10/7～10/31）
	18日	公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 「スカウトの日」を協賛
	21日	第8回「館山セブンの海の森」71名参加 タブノキポッド、沖ノ島整備、種まき
	26日	第38回「高尾セブンの森」98名参加 下刈り、間伐・倒木処理、チップカーかけ
	28日	第6回「青森セブンの森」30名参加 勉強会、ゴミ分別、カヤック体験、 生きもの観察
	28日	第13回「長野セブンの森」86名参加 下刈り
	29日	北海道森林スポーツフェスタ2024 in 支笏湖に特別協賛
10月	12日	第9回「霧多布セブンの森」49名参加 海岸清掃
	12日	第3回「奈良セブンの森」159名参加 竹林整備、植樹プレート取付、水みち作り

2024年

10月	12日	「海辺の自然再生高校生サミット2024 in よこすか」に協賛 (10/12～10/14)
	19日	第17回「佐賀セブンの森」40名参加 竹林整備
	26日	第14回「三重セブンの森」83名参加 伐採木運び出し、伐採木処理
	26日	第39回「高尾セブンの森」113名参加 下刈り、間伐・倒木処理、チップパーかけ
	27日	第11回「滋賀セブンの森」153名参加 湖畔清掃、小さな自然再生活動
11月	2日	第19回「森のようちえん全国交流フォーラム in 秩父」に協賛 (11/2～11/4)
	6日	第11回「えりも岬セブンの森」 141名参加 枝打ち
	9日	第9回「塩竈湾セブンの海の森」 68名参加 アマモ選別、アマモ種まき
	9日	第10回「山梨セブンの森」74名参加 伐採木処理、育木
	16日	第13回「阪南セブンの海の森」 124名参加 海岸清掃、アマモ作付け用 ネット作成
	16日	第22回「宮城セブンの森」70名参加 植樹 (70本)、下刈り、蔓性植物除去

2024年

11月	23日	第22回「広島セブンの森」182名参加 植樹 (300本)、灌木類伐採、清掃活動
	24日	第4回「富士箱根伊豆国立公園」 81名参加 植樹 (9本)、鹿防護柵設置
	30日	第5回「埼玉セブンの森」68名参加 葦・竹の運び出し、蔓性植物除去
12月	7日	富士山地域環境保全活動 195名参加 清掃活動
	8日	第19回「東京湾UMIプロジェクト」 62名参加 アマモの選別・播種 (開催会場：海の公園)

2025年

1月	22日	第1回「瀬戸内海国立公園 (日生) 整備活動」94名参加 海洋ゴミの回収
	25日	第2回「瀬戸内海国立公園 (周防大島) 整備活動」48名参加 竹林整備・登山道整備
2月	5日	「庄内セブンの森」事業にかかわる連携に関する協定締結式開催
	16日	第2回「霧島錦江湾国立公園整備活動」 86名参加 干潟の耕うん・海岸清掃・ 生き物観察
	20日	第15回「脱炭素チャレンジカップ2025」 オンライン同時開催に協賛



2024年10月12日～14日

「海辺の自然再生・高校生サミット 2024 in よこすか」に協賛

セブン-イレブン記念財団は『海辺の自然再生・高校生サミット2024 in よこすか (主催:海辺つくり研究会/共存の森ネットワーク)』を協賛いたしました。

本サミットは、「アマモ場」の再生活動をはじめとする様々な海辺の自然再生や生態系の保全関連の活動に取り組む全国各地の高校生が横須賀に集い、活動成果を発表・意見交換をしました。

各校高校生らしい柔らかな発想で活動に取り組み、会場の有識者をうならせるような発表が繰り返されました。

この会議で共有された情報は、高校生たちやそれを支援する地域の方々の今後の自然再生活動に活かされていくことでしょう。



2024年度（令和6年度）貸借対照表

2025年(令和7年)2月28日現在

(単位：円)

科目	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
(1) 現金預金	2,185,411,136
(2) 未収金	212,000
(3) 貯蔵品	112,190
(4) 立替金	185,165
流動資産合計	2,185,920,491
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
譲渡性預金	300,000,000
基本財産合計	300,000,000
(2) 特定資産	
土地	12,155,251
特定資産合計	12,155,251
(3) その他固定資産	
建物	295,885
建物附属設備	5,965,372
構築物	1,447,190
機械装置	721,149
車両	238,700
什器備品	1,261,005
土地	26,991,164
ソフトウェア	1,254,001
リサイクル預託金	29,650
その他固定資産合計	38,204,116
固定資産合計	350,359,367
資産合計	2,536,279,858
II 負債の部	
1. 流動負債	
(1) 所得税預り金	261,418
(2) 社会保険預り金	581,812
(3) 雇用保険預り金	308,882
(4) 住民税預り金	93,100
(5) 職員立替金	2,168
(6) 賞与引当金	6,148,000
流動負債合計	7,395,380
負債合計	7,395,380
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	11,989,615
(うち特定資産への充当額)	(11,989,615)
2. 一般正味財産	2,516,894,863
(うち基本財産への充当額)	(300,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(165,636)
正味財産合計	2,528,884,478
負債及び正味財産合計	2,536,279,858

2024年度（令和6年度）正味財産増減計算書

2024年(令和6年)3月1日から
2025年(令和7年)2月28日まで

(単位：円)

科目	金額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
募金収益	
店頭募金収入	516,614,107
その他の募金	19,477,862
募金収入合計	536,091,969
寄付金収益	
セブン-イレブン本部寄付金収入	149,515,845
その他寄付金収入	10,157,904
寄付金収入合計	159,673,749
その他の収益	
前年度助成残余金返還額	13,124,343
東京事務局事業収入	0
九重ふるさと自然学校事業収入	867,379
高尾の森自然学校事業収入	2,190,033
受取利息	1,175,110
その他	9,314
その他の収益合計	17,366,179
経常収益計	713,131,897
(2) 経常費用	
事業費	
公募助成事業費	153,578,398
地域活動支援事業費	13,844,039
自然環境保護・保全事業費	129,339,508
災害復興支援事業費	1,286,121
広報事業費	64,386,282
事業費合計	362,434,348
管理費	
給与手当	43,865,563
法定福利費	14,763,029
退職給付費用	4,677,521
旅費交通費	5,658,398
ボランティア活動支援費	778,650
理事会等関係費	2,762,996
募金箱関連備品制作費	22,127,600
その他	6,782,145
減価償却費	2,600,619
賞与引当金繰入額	6,470,000
管理費合計	110,486,521
経常費用計	472,920,869
当期経常増減額	240,211,028
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
寄付金	3,402,668
経常外費用計	3,402,668
(3) 特別損失	
固定資産除却損	548,102
特別損失計	548,102
当期経常外増減額	(3,950,770)
当期一般正味財産増減額	236,260,258
一般正味財産期首残高	2,280,634,605
一般正味財産期末残高	2,516,894,863
II 指定正味財産増減の部	
土地受贈益	0
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	11,989,615
指定正味財産期末残高	11,989,615
III 正味財産期末残高	2,528,884,478



概要

- 名称 ◆ 一般財団法人 セブン-イレブン記念財団
- 理事長 ◆ 太田 敏夫 (セブン-イレブン富士吉田おひめ坂通り店オーナー)
- 事業目的 ◆ 環境をテーマに社会貢献活動に取り組む
- 事業内容 ◆ 環境市民活動支援事業／自然環境保護・保全事業／災害復興支援事業／広報事業
- 事業資金 ◆ お店に寄せられた募金と(株)セブン-イレブン・ジャパン、企業、団体、個人の皆様からの寄付金
- 設立日 ◆ 1993年(平成5年)11月20日(セブン-イレブンみどりの基金)
- 事業開始日 ◆ 1994年(平成6年)3月1日(セブン-イレブンみどりの基金)
- 財団設立日 ◆ 2010年(平成22年)3月1日



一般財団法人 セブン-イレブン記念財団
 〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8
 TEL:03-6238-3872 FAX:03-3261-2513
<https://www.7midori.org>



本誌は森林保全活動に配慮したFSC® 認証紙を使用しています。



本誌は環境に配慮した植物油インキを使用しています。